

武芸川まちづくりアンケート

結果報告書

武芸川地域委員会準備会

武芸川まちづくりアンケート結果

1 概要

- 調査目的
私たちが暮らす”武芸川”をいつまでも安心して住み続けられる地域にするため、住民主体による地域づくりを目指しています。
そこで、地域づくりを進めるためには、まず住民の声をお聞きし、地域の課題を見つけることが重要です。皆さんが日ごろ考えていることやご意見を聞くためにアンケートを行いました。
- 調査主体
武芸川地域委員会準備会（事務局：武芸川まちづくり委員会）
- 調査期間
平成26年7月1日から7月31日まで
- 調査対象
武芸川地区の自治会加入世帯の中から、市役所が無作為に選び出した16歳から80歳までの1,919人
- 実施方法
自治会を通じて配布及び回収、武芸川地域委員会準備会で集計及び分析
- 有効回収数
1,618通（回収率 84.3%）
※武芸川地区の全住民（6,362人）の25.4%

○ 地区別回収率

地 区	配布数	回収数	回収率
①寺尾	70	47	67.1%
②森本	53	38	71.7%
③金屋	79	72	91.1%
④桶森	96	89	92.7%
⑤洞	72	54	75.0%
⑥市場	77	72	93.5%
⑦一色	75	52	69.3%
⑧宇多院	113	99	87.6%
⑨平	126	107	84.9%
⑩小知野	197	145	73.6%
⑪八幡	324	237	73.1%
⑫高野	297	234	78.8%
⑬跡部	340	278	81.8%
不明（無回答）		94	
合 計	1,919	1,618	84.3%

あなた自身についてお聞きします

問1 あなたの性別はどちらですか。

性別	回答数	割合
①男性	753	46.5%
②女性	767	47.4%
不明（無回答）	98	6.1%
合計	1,618	100.0%

問2 あなたの年齢は満何歳ですか。

年齢区分	回答数	割合
①16～19歳	71	4.4%
②20～29歳	173	10.7%
③30～39歳	223	13.8%
④40～49歳	222	13.7%
⑤50～59歳	271	16.7%
⑥60～69歳	367	22.7%
⑦70歳以上	201	12.4%
不明（無回答）	90	5.6%
合計	1,618	100.0%

【参考】武芸川地区の住民基本台帳人口 年齢別(平成26年7月1日現在)

年齢区分	人数	割合
0～9歳	503	7.9%
10～19歳	649	10.2%
20～29歳	678	10.7%
30～39歳	722	11.3%
40～49歳	762	12.0%
50～59歳	839	13.2%
60～69歳	1,035	16.3%
70～79歳	598	9.4%
80歳以上	576	9.1%
合計	6,362	100.0%

問3 あなたがお住まいの地区はどこですか。

項目	回答数	割合
①寺尾	47	2.9%
②森本	38	2.3%
③金屋	72	4.4%
④桶森	89	5.5%
⑤洞	54	3.3%
⑥市場	72	4.4%
⑦一色	52	3.2%
⑧宇多院	99	6.1%
⑨平	107	6.6%
⑩小知野	145	9.0%
⑪八幡	237	14.6%
⑫高野	234	14.5%
⑬跡部	278	17.2%
不明（無回答）	94	5.8%
合計	1,618	100.0%

問4 あなたの世帯はどのような形態ですか。

項目	回答数	割合
①単身世帯	84	5.2%
②夫婦のみの世帯	225	13.9%
③夫婦と子どもの世帯（2世代）	614	37.9%
④3世代の世帯	417	25.8%
⑤その他	176	10.9%
不明（無回答）	102	6.3%
合計	1,618	100.0%

問5 あなたは既婚ですか、未婚ですか。

項目	回答数	割合
①結婚している	1,062	65.6%
②未婚である	361	22.3%
③離婚、死別などで単身である	133	8.2%
不明（無回答）	62	3.8%
合計	1,618	100.0%

【参考】年齢及び男女別の既婚・未婚等の状況

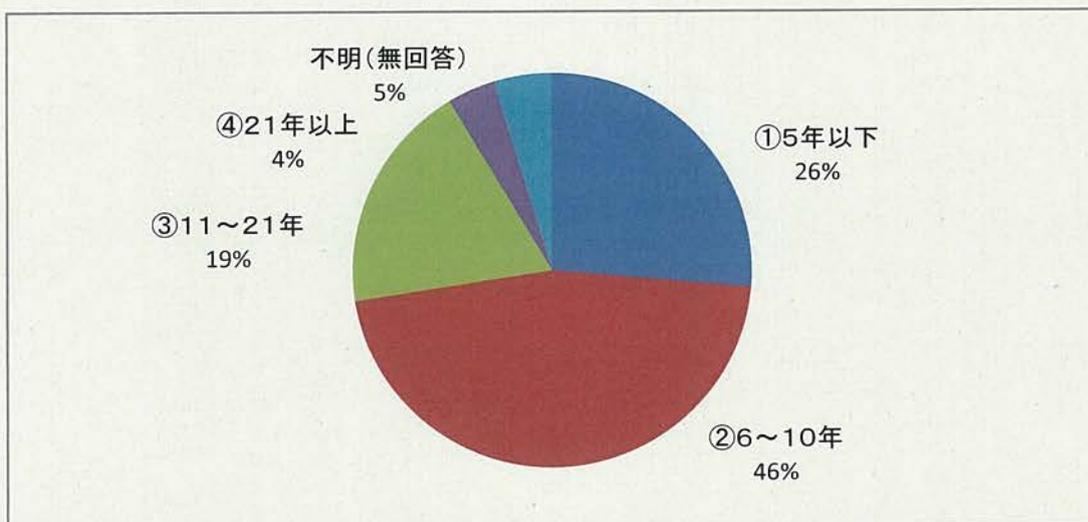
年齢区分		結婚している		未婚である		離婚、死別で単身		無回答		合計
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
16～19歳	男	0	0.0%	42	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	42
	女	0	0.0%	29	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	29
	不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
	計	0	0.0%	71	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	71
20～29歳	男	10	11.8%	75	88.2%	0	0.0%	0	0.0%	85
	女	16	18.4%	69	79.3%	2	2.3%	0	0.0%	87
	不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1
	計	26	15.0%	144	83.2%	2	1.2%	1	0.6%	173
30～39歳	男	50	47.6%	48	45.7%	5	4.8%	2	1.9%	105
	女	85	72.0%	26	22.0%	5	4.2%	2	1.7%	118
	不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
	計	135	60.5%	74	33.2%	10	4.5%	4	1.8%	223
40～49歳	男	93	74.4%	24	19.2%	7	5.6%	1	0.8%	125
	女	78	80.4%	9	9.3%	10	10.3%	0	0.0%	97
	不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
	計	171	77.0%	33	14.9%	17	7.7%	1	0.5%	222
50～59歳	男	108	83.1%	13	10.0%	9	6.9%	0	0.0%	130
	女	126	89.4%	6	4.3%	9	6.4%	0	0.0%	141
	不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
	計	234	86.3%	19	7.0%	18	6.6%	0	0.0%	271
60～69歳	男	157	92.4%	7	4.1%	6	3.5%	0	0.0%	170
	女	158	82.3%	3	1.6%	31	16.1%	0	0.0%	192
	不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	100.0%	5
	計	315	85.8%	10	2.7%	37	10.1%	5	1.4%	367
70歳以上	男	80	83.3%	0	0.0%	10	10.4%	6	6.3%	96
	女	66	64.1%	0	0.0%	34	33.0%	3	2.9%	103
	不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	2
	計	146	72.6%	0	0.0%	44	21.9%	11	5.5%	201
年齢不明		35	38.9%	10	11.1%	5	5.6%	40	44.4%	90
合計		1,062	65.6%	361	22.3%	133	8.2%	62	3.8%	1,618

問6 あなたの職業は何ですか。

項目	回答数	割合
①自営業、事業主	175	10.8%
②勤め人（会社員）	495	30.6%
③公務員、団体職員	79	4.9%
④農業・林業・漁業	21	1.3%
⑤パート・アルバイト	254	15.7%
⑥主に家事・育児	117	7.2%
⑦学生	92	5.7%
⑧無職	292	18.0%
⑨その他	31	1.9%
不明（無回答）	62	3.8%
合計	1,618	100.0%

問7 あなたは武芸川地域に住んで何年ですか。

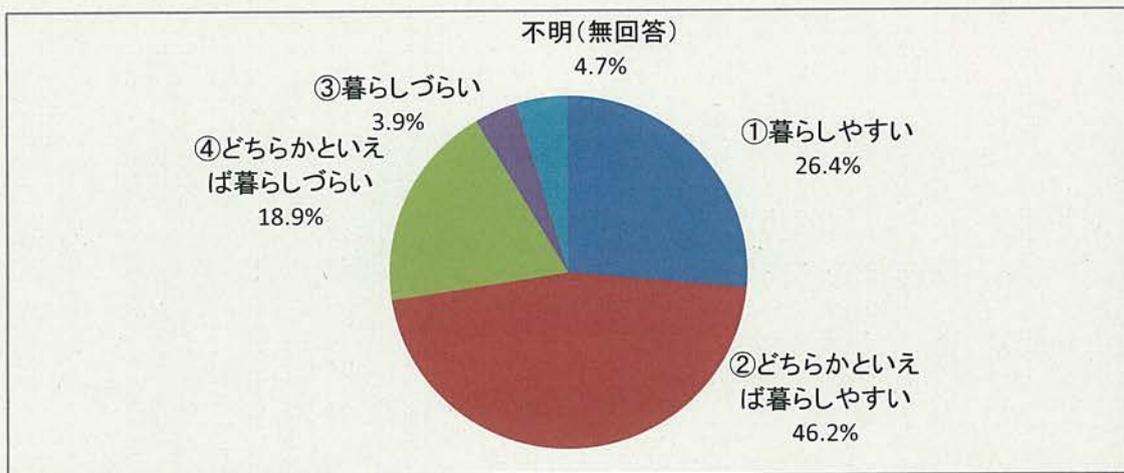
項目	回答数	割合
①5年以下	427	26.4%
②6～10年	747	46.2%
③11～21年	305	18.9%
④21年以上	63	3.9%
不明（無回答）	76	4.7%
合計	1,618	100.0%



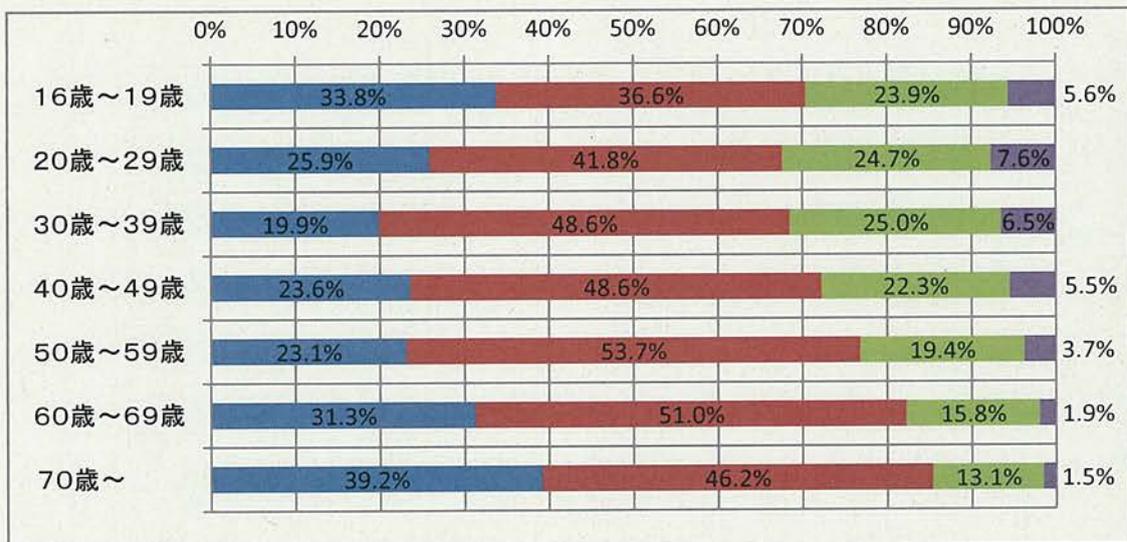
暮らしについてお聞きします

問8 あなたにとって武芸川地域は暮らしやすいですか。

項目	回答数	割合
①暮らしやすい	427	26.4%
②どちらかといえば暮らしやすい	747	46.2%
④どちらかといえば暮らしづらい	305	18.9%
③暮らしづらい	63	3.9%
不明（無回答）	76	4.7%
合計	1,618	100.0%



【参考】年齢別にみる暮らしやすさ

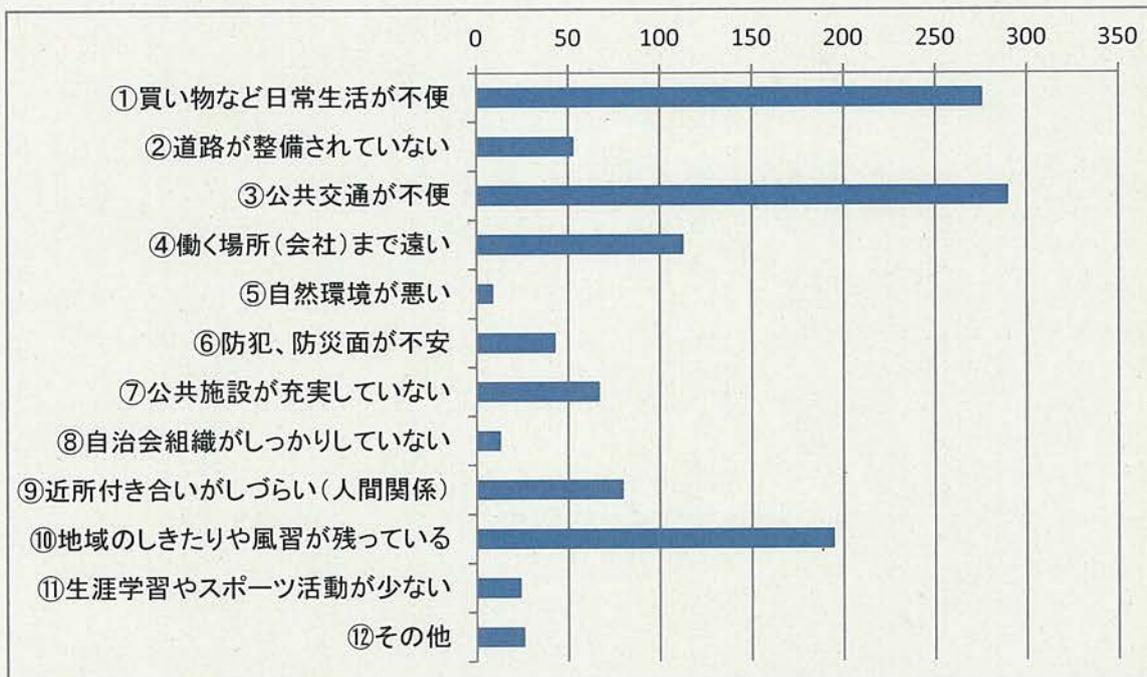


問9 問8で、③、④を選んだ方にお聞きします。暮らしづらい理由は何ですか。

項目	回答数	割合
①買い物など日常生活が不便	276	23.2%
②道路が整備されていない	53	4.5%
③公共交通が不便	290	24.4%
④働く場所（会社）まで遠い	113	9.5%
⑤自然環境が悪い	9	0.8%
⑥防犯、防災面が不安	43	3.6%
⑦公共施設が充実していない	67	5.6%
⑧自治会組織がしっかりしていない	13	1.1%
⑨近所付き合いがしづらい（人間関係）	80	6.7%
⑩地域のしきたりや風習が残っている（行事や役が多い）	195	16.4%
⑪生涯学習やスポーツ活動が少ない	24	2.0%
⑫その他	26	2.2%
合計	1,189	100.0%

「その他」の主な回答

- ・自治会行事が多い
- ・消防団、お寺や神社の役員、草刈りや山の下刈りなど負担が多い
- ・野焼きする人が多い
- ・鳥獣被害が多い
- ・地域に妙なプライドがあり、閉塞感を感じる など

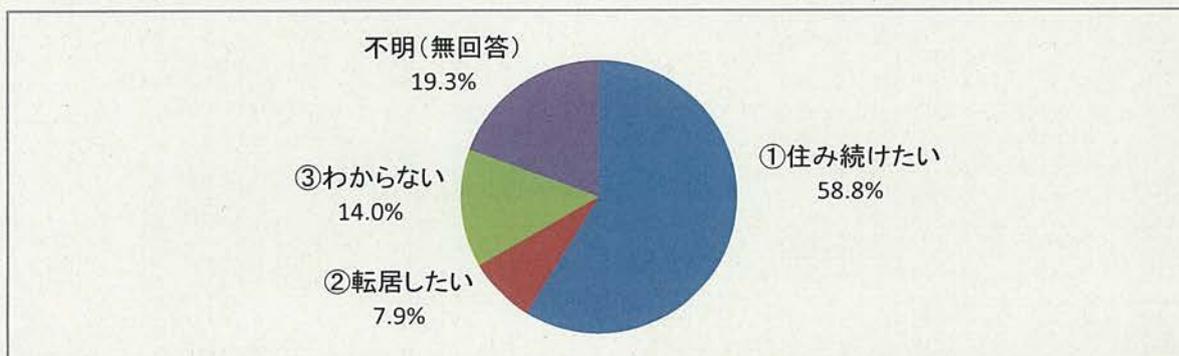


【参考】 地区別にみる暮らしづらい理由は何ですか。

年齢区分	第1位	第2位	第3位
寺尾	①買い物など日常生活が不便	②道路が整備されていない	③公共交通が不便
森本	①買い物など日常生活が不便	③公共交通が不便	⑩地域のしきたりや風習が残っている
金屋	③公共交通が不便	①買い物など日常生活が不便	⑩地域のしきたりや風習が残っている
桶森	①買い物など日常生活が不便	③公共交通が不便	⑩地域のしきたりや風習が残っている
洞	①買い物など日常生活が不便	③公共交通が不便	⑩地域のしきたりや風習が残っている
市場	③公共交通が不便	①買い物など日常生活が不便	⑩地域のしきたりや風習が残っている
一色	①買い物など日常生活が不便	③公共交通が不便	⑩地域のしきたりや風習が残っている
宇多院	③公共交通が不便	①買い物など日常生活が不便	⑩地域のしきたりや風習が残っている
平	⑩地域のしきたりや風習が残っている	③公共交通が不便	①買い物など日常生活が不便
小知野	③公共交通が不便	①買い物など日常生活が不便	⑩地域のしきたりや風習が残っている
八幡	③公共交通が不便	⑩地域のしきたりや風習が残っている	①買い物など日常生活が不便
高野	③公共交通が不便	⑨近所付き合いがしづらい(人間関係)	①買い物など日常生活が不便
跡部	③公共交通が不便	①買い物など日常生活が不便	⑩地域のしきたりや風習が残っている

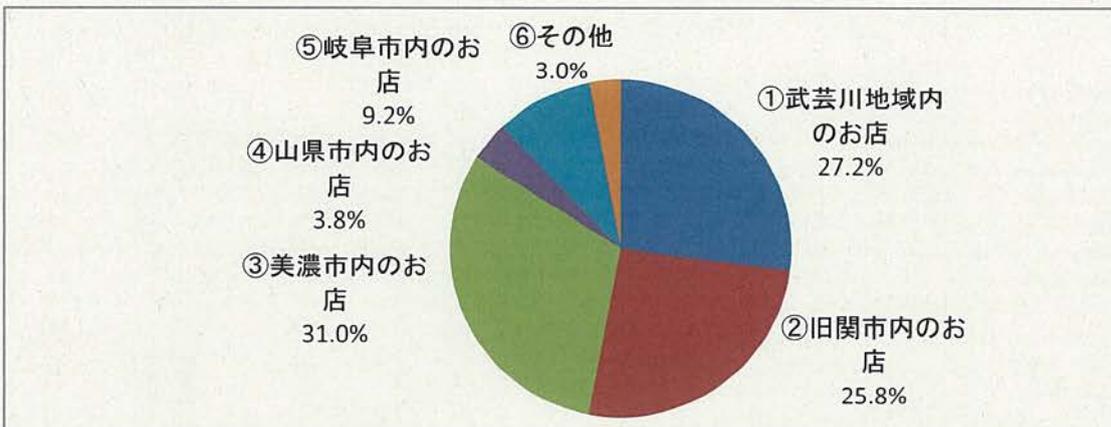
問10 あなたは今後も武芸川地域に住み続けたいと思いますか。

項目	回答数	割合
①住み続けたい	951	58.8%
②転居したい	128	7.9%
③わからない	226	14.0%
不明(無回答)	313	19.3%
合計	1,618	100.0%



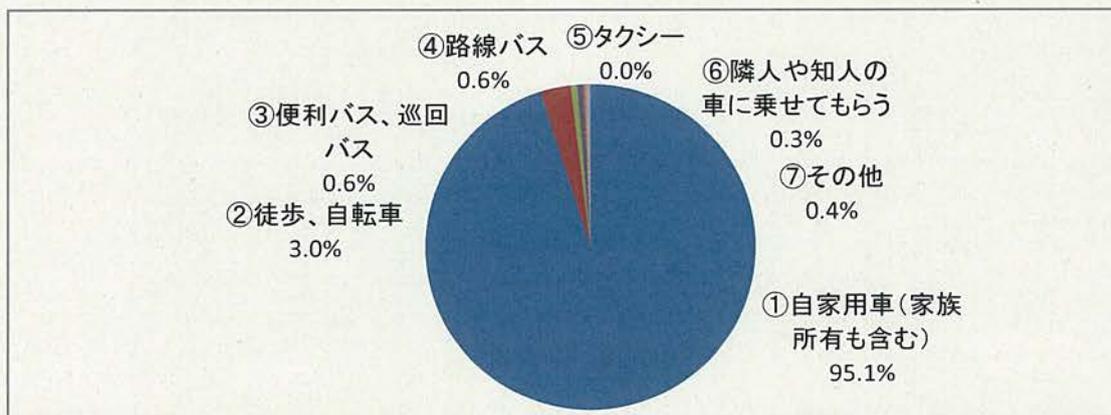
問11 食料品や日常生活用品を主に購入されるお店はどこですか。

項目	回答数	割合
①武芸川地域内のお店	429	27.2%
②旧関市内のお店	408	25.8%
③美濃市内のお店	490	31.0%
④山県市内のお店	60	3.8%
⑤岐阜市内のお店	145	9.2%
⑥その他	47	3.0%
合計	1,579	100.0%



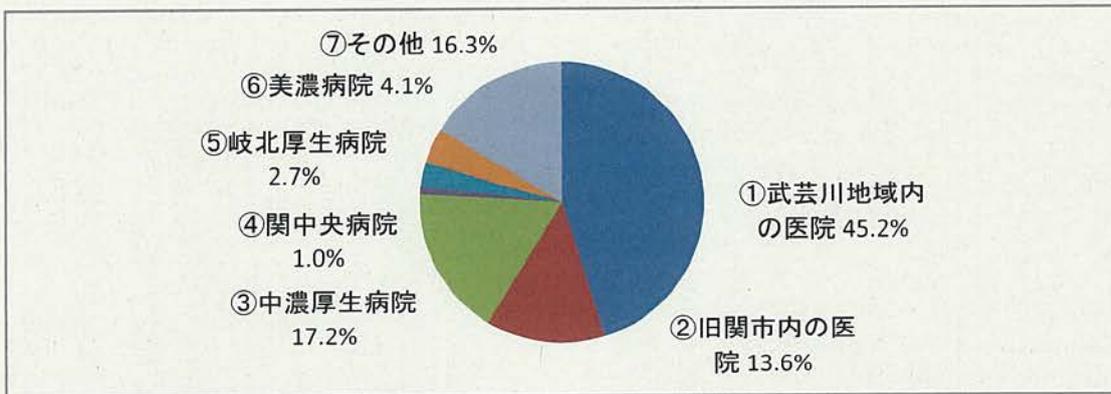
問12 買い物に使う主な移動手段は何か。

項目	回答数	割合
①自家用車（家族所有も含む）	1,474	95.1%
②徒歩、自転車	46	3.0%
③便利バス、巡回バス	10	0.6%
④路線バス	10	0.6%
⑤タクシー	0	0.0%
⑥隣人や知人の車に乗せてもらう	4	0.3%
⑦その他	6	0.4%
合計	1,550	100.0%



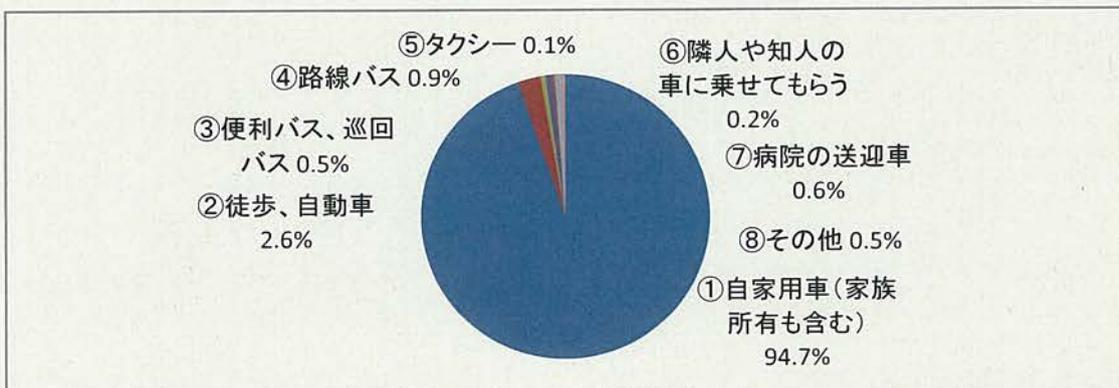
問13 主に利用される病院はどこですか。

項目	回答数	割合
①武芸川地域内の医院	705	45.2%
②旧関市内の医院	212	13.6%
③中濃厚生病院	269	17.2%
④関中央病院	15	1.0%
⑤岐北厚生病院	42	2.7%
⑥美濃病院	64	4.1%
⑦その他	254	16.3%
合計	1,561	100.0%



問14 通院に使う主な移動手段は何ですか。

項目	回答数	割合
①自家用車（家族所有も含む）	1,456	93.3%
②徒歩、自動車	40	2.6%
③便利バス、巡回バス	8	0.5%
④路線バス	14	0.9%
⑤タクシー	1	0.1%
⑥隣人や知人の車に乗せてもらう	3	0.2%
⑦病院の送迎車	9	0.6%
⑧その他	7	0.4%
合計	1,538	100.0%



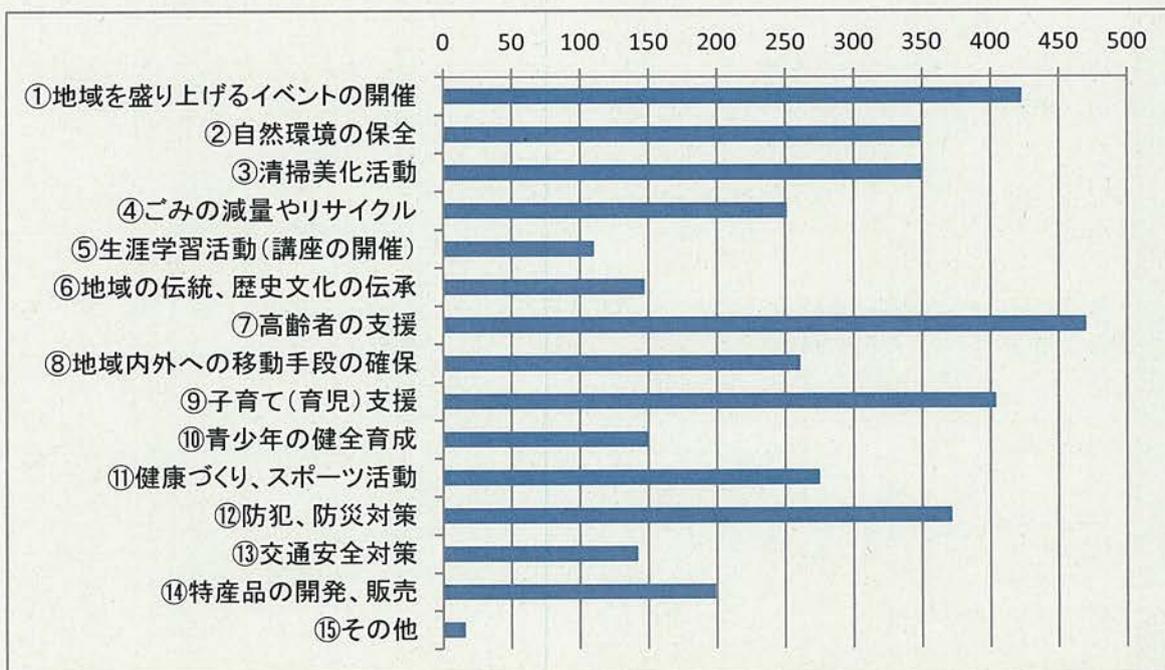
まちづくり活動についてお聞きします

問15 地域住民が力を合わせて取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①地域を盛り上げるイベントの開催	423	10.8%
②自然環境の保全	349	8.9%
③清掃美化活動	350	8.9%
④ごみの減量やりサイクル	251	6.4%
⑤生涯学習活動（講座の開催）	110	2.8%
⑥地域の伝統、歴史文化の伝承	147	3.8%
⑦高齢者の支援	470	12.0%
⑧地域内外への移動手手段の確保	261	6.7%
⑨子育て（育児）支援	404	10.3%
⑩青少年の健全育成	150	3.8%
⑪健康づくり、スポーツ活動	275	7.0%
⑫防犯、防災対策	372	9.5%
⑬交通安全対策	142	3.6%
⑭特産品の開発、販売	199	5.1%
⑮その他	16	0.4%
合計	3,919	100.0%

「その他」の主な回答

- ・河原でバーベキューをする人に対する環境美化啓発
- ・鳥獣害対策（猿、猪、カラス、アライグマ など）、荒廃農地の活用、除雪、除草
- ・子ども達への郷土愛の醸成
- ・消防団の勧誘、障がい者支援、婚活支援
- ・若狭町との交流イベントの開催 など



【参考】年齢別にみる地域が取り組むと良いと思われること

年齢区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
16～19歳	①地域を盛り上げるイベントの開催	③清掃美化活動	⑧地域内外への移動手段の確保	⑨子育て（育児）支援	⑫防犯、防災対策
20～29歳	①地域を盛り上げるイベントの開催	⑨子育て（育児）支援	⑧地域内外への移動手段の確保	②自然環境の保全	⑫防犯、防災対策
30～39歳	⑨子育て（育児）支援	①地域を盛り上げるイベントの開催	⑫防犯、防災対策	⑦高齢者の支援	②自然環境の保全
40～49歳	⑨子育て（育児）支援	⑦高齢者の支援	①地域を盛り上げるイベントの開催	⑫防犯、防災対策	⑧地域内外への移動手段の確保
50～59歳	⑦高齢者の支援	⑨子育て（育児）支援	②自然環境の保全	①地域を盛り上げるイベントの開催	③清掃美化活動
60～69歳	⑪健康づくり、スポーツ活動	②自然環境の保全	③清掃美化活動	⑫防犯、防災対策	①地域を盛り上げるイベントの開催
70歳以上	⑦高齢者の支援	③清掃美化活動	②自然環境の保全	①地域を盛り上げるイベントの開催	④ごみの減量やリサイクル

【参考】地区別にみる地域が取り組むと良いと思われること

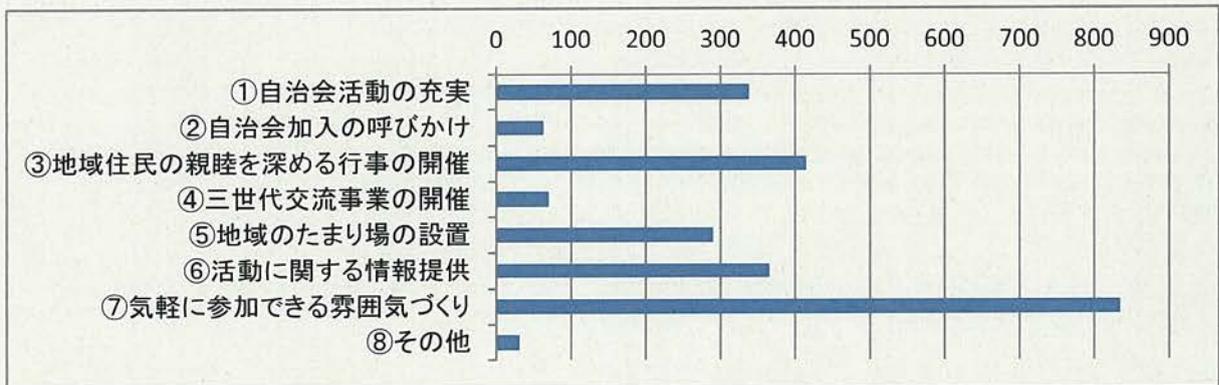
年齢区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
寺尾	②自然環境の保全	①地域を盛り上げるイベントの開催	⑦高齢者の支援	⑫防犯、防災対策	⑧地域内外への移動手段の確保
森本	⑦高齢者の支援	①地域を盛り上げるイベントの開催	⑫防犯、防災対策	⑪健康づくり、スポーツ活動	③清掃美化活動
金屋	⑫防犯、防災対策	⑦高齢者の支援	⑨子育て（育児）支援	①地域を盛り上げるイベントの開催	④ごみの減量やリサイクル活動
桶森	①地域を盛り上げるイベントの開催	⑦高齢者の支援	⑧地域内外への移動手段の確保	③清掃美化活動	②自然環境の保全
洞	⑨子育て（育児）支援	⑦高齢者の支援	⑫防犯、防災対策	④ごみの減量やリサイクル活動	①地域を盛り上げるイベントの開催
市場	⑦高齢者の支援	②自然環境の保全	⑪健康づくり、スポーツ活動	⑧地域内外への移動手段の確保	⑨子育て（育児）支援
一色	⑨子育て（育児）支援	⑦高齢者の支援	⑫防犯、防災対策	③清掃美化活動	②自然環境の保全
宇多院	⑨子育て（育児）支援	②自然環境の保全	①地域を盛り上げるイベントの開催	⑦高齢者の支援	⑧地域内外への移動手段の確保
平	⑦高齢者の支援	⑫防犯、防災対策	③清掃美化活動	④ごみの減量やリサイクル活動	②自然環境の保全
小知野	⑦高齢者の支援	①地域を盛り上げるイベントの開催	⑨子育て（育児）支援	③清掃美化活動	⑧地域内外への移動手段の確保
八幡	⑦高齢者の支援	①地域を盛り上げるイベントの開催	⑨子育て（育児）支援	⑫防犯、防災対策	②自然環境の保全
高野	①地域を盛り上げるイベントの開催	⑦高齢者の支援	②自然環境の保全	③清掃美化活動	⑫防犯、防災対策
跡部	⑫防犯、防災対策	⑨子育て（育児）支援	⑦高齢者の支援	①地域を盛り上げるイベントの開催	③清掃美化活動

問16 自治会活動、地域の絆やコミュニティを守るためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①自治会活動の充実	338	14.1%
②自治会加入の呼びかけ	63	2.6%
③地域住民の親睦を深める行事の開催	414	17.2%
④三世代交流事業の開催	70	2.9%
⑤地域のたまり場の設置	290	12.1%
⑥活動に関する情報提供	365	15.2%
⑦気軽に参加できる雰囲気づくり	834	34.7%
⑧その他	31	1.3%
合計	2,405	100.0%

「その他」の主な回答

- ・ 不要な役割の廃止、行事の削減、自治会活動に対する負担軽減
- ・ 今のままで十分、行事等増やさない
- ・ 強制ではなく、本人の意思で自由に参加できる雰囲気づくり
- ・ 自治会活動は住民の総意で決めること
- ・ 働いている人たちの負担にならないようにする
- ・ 人材の育成 など



【参考】年齢別にみる自治会活動、地域の絆やコミュニティを守るためにみんなで取り組むと良いこと

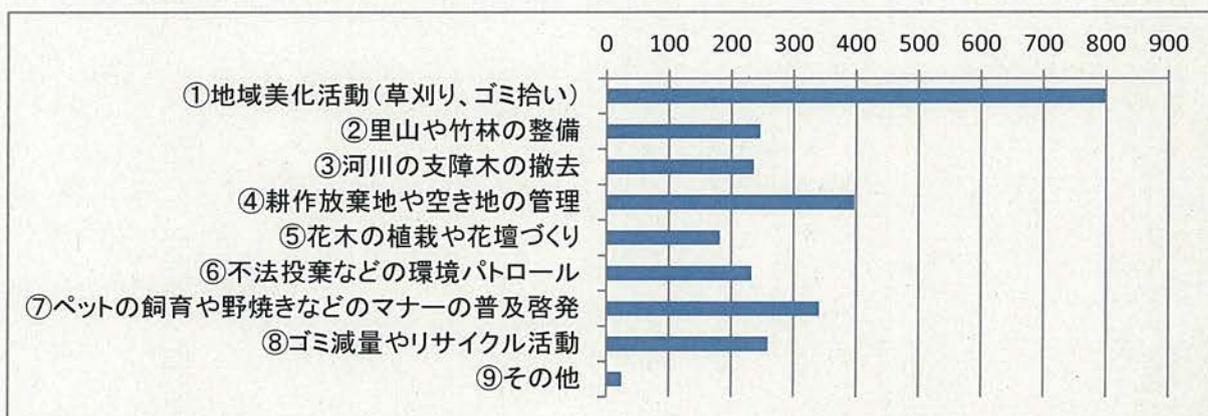
年齢区分	第1位	第2位	第3位
16～19歳	⑦気軽に参加できる雰囲気づくり	③親睦を深める行事の開催	①自治会活動の充実
20～29歳	⑦気軽に参加できる雰囲気づくり	⑤地域のたまり場の設置	⑥活動に関する情報提供
30～39歳	⑦気軽に参加できる雰囲気づくり	⑥活動に関する情報提供	⑤地域のたまり場の設置
40～49歳	⑦気軽に参加できる雰囲気づくり	⑥活動に関する情報提供	③親睦を深める行事の開催
50～59歳	⑦気軽に参加できる雰囲気づくり	③親睦を深める行事の開催	⑥活動に関する情報提供
60～69歳	⑦気軽に参加できる雰囲気づくり	③親睦を深める行事の開催	①自治会活動の充実
70歳以上	⑦気軽に参加できる雰囲気づくり	③親睦を深める行事の開催	①自治会活動の充実

問17 生活環境を守るためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①地域美化活動（草刈り、ゴミ拾い）	798	29.4%
②里山や竹林の整備	246	9.1%
③河川の支障木の撤去	236	8.7%
④耕作放棄地や空き地の管理	397	14.6%
⑤花木の植栽や花壇づくり	182	6.7%
⑥不法投棄などの環境パトロール	233	8.6%
⑦ペットの飼育や野焼きなどのマナーの普及啓発	341	12.6%
⑧ゴミ減量やリサイクル活動	259	9.5%
⑨その他	25	0.9%
合計	2,717	100.0%

「その他」の主な回答

- ・野焼き、犬のフン、犬や猫の放し飼い対策
- ・防犯灯の維持管理
- ・公園の維持管理
- ・鳥獣害対策（猿、猪、カラス、アライグマ など）
- ・十分である、行政主導で行ってほしい など



【参考】 年齢別にみる生活環境を守るためにみんなで取り組むと良いこと

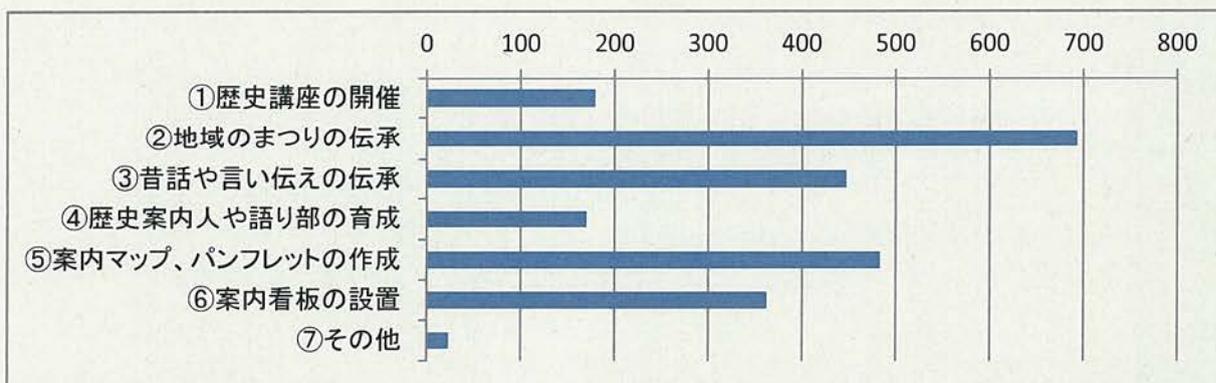
年齢区分	第1位	第2位	第3位
16～19歳	①地域美化活動	⑧ゴミの減量やリサイクル	⑥不法投棄の環境パトロール
20～29歳	①地域美化活動	⑦ペットの飼育や野焼き	⑧ゴミの減量やリサイクル
30～39歳	①地域美化活動	⑦ペットの飼育や野焼き	④耕作放棄地や空き家管理
40～49歳	①地域美化活動	④耕作放棄地や空き家管理	⑦ペットの飼育や野焼き
50～59歳	①地域美化活動	④耕作放棄地や空き家管理	⑦ペットの飼育や野焼き
60～69歳	①地域美化活動	④耕作放棄地や空き家管理	②里山や竹林の整備
70歳以上	①地域美化活動	④耕作放棄地や空き家管理	⑦ペットの飼育や野焼き

問18 伝統文化を保存活用するためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①歴史講座の開催	179	7.6%
②地域のまつりの伝承	693	29.4%
③昔話や言い伝えの伝承	447	19.0%
④歴史案内人や語り部の育成	170	7.2%
⑤案内マップ、パンフレットの作成	483	20.5%
⑥案内看板の設置	362	15.4%
⑦その他	23	1.0%
合計	2,357	100.0%

「その他」の主な回答

- ・子どもを対象にした講座の開催
- ・地域資源のPR活動
- ・昔の風景を撮影した写真の保存
- ・各家庭に眠っている文化的な資源の掘り起こし など



【参考】年齢別にみる伝統文化を保存活用するためにみんなで取り組むと良いこと

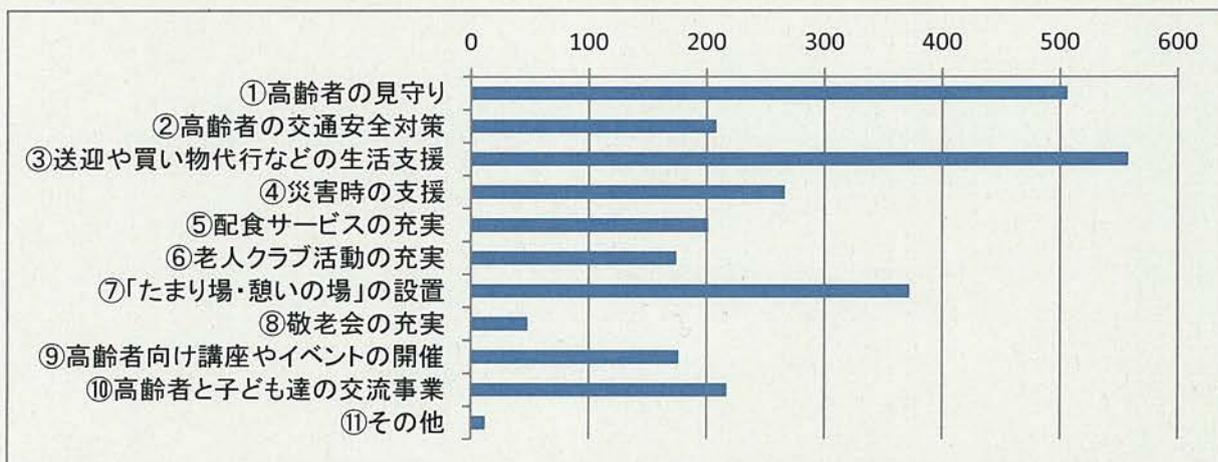
年齢区分	第1位	第2位	第3位
16～19歳	②地域のまつりの伝承	⑤案内マップ、パンフレットの作成	⑥案内看板の設置
20～29歳	②地域のまつりの伝承	⑤案内マップ、パンフレットの作成	⑥案内看板の設置
30～39歳	②地域のまつりの伝承	⑤案内マップ、パンフレットの作成	③昔話や言い伝えの伝承
40～49歳	②地域のまつりの伝承	⑤案内マップ、パンフレットの作成	③昔話や言い伝えの伝承
50～59歳	②地域のまつりの伝承	⑤案内マップ、パンフレットの作成	③昔話や言い伝えの伝承
60～69歳	②地域のまつりの伝承	③昔話や言い伝えの伝承	⑤案内マップ、パンフレットの作成
70歳以上	②地域のまつりの伝承	③昔話や言い伝えの伝承	⑥案内看板の設置

問19 高齢者が安心して生き生きと暮らすためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①高齢者の見守り	506	18.5%
②高齢者の交通安全対策	208	7.6%
③送迎や買い物代行などの生活支援	558	20.4%
④災害時の支援	266	9.7%
⑤配食サービスの充実	201	7.3%
⑥老人クラブ活動の充実	174	6.4%
⑦「たまり場・憩いの場」の設置	372	13.6%
⑧敬老会の充実	48	1.8%
⑨高齢者向け講座やイベントの開催	176	6.4%
⑩高齢者と子ども達の交流事業	217	7.9%
⑪その他	12	0.4%
合計	2,738	100.0%

「その他」の主な回答

- ・ 独居老人だけでなく希望する老人への配食サービスの実施、寝たきり老人の支援
- ・ 仕事や働き場所の確保、ボランティア機会の提供
- ・ 高齢者は、今のままで十分生き生きしている
- ・ 近所同士で助け合いできる小さな組織づくり
- ・ 家族の問題として解決する など



【参考】年齢別にみる高齢者が安心して生き生きと暮らすためにみんなで取り組むと良いこと

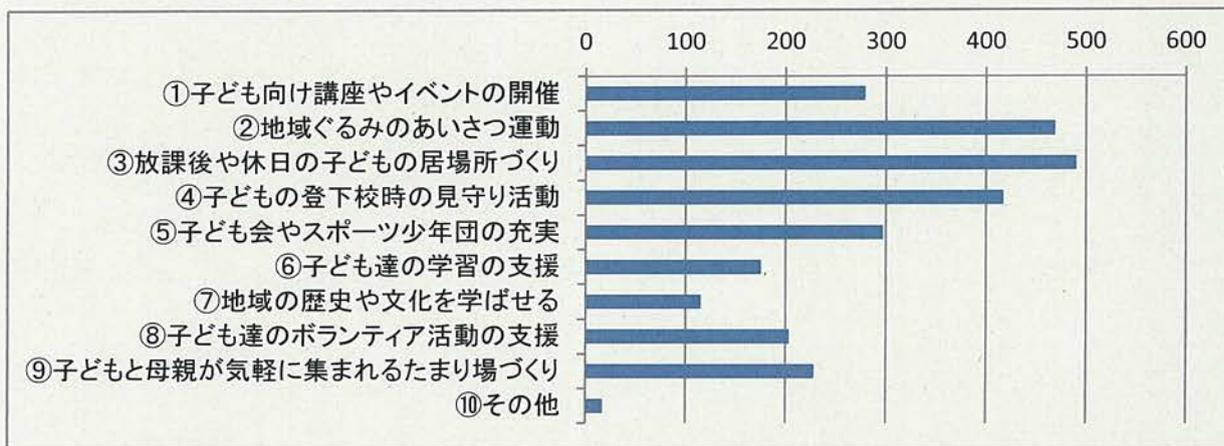
年齢区分	第1位	第2位	第3位
16～19歳	③送迎や買い物代行など生活支	①高齢者の見守り	⑦たまり場・憩いの場の設置
20～29歳	③送迎や買い物代行など生活支	①高齢者の見守り	⑦たまり場・憩いの場の設置
30～39歳	③送迎や買い物代行など生活支	①高齢者の見守り	⑦たまり場・憩いの場の設置
40～49歳	③送迎や買い物代行など生活支	①高齢者の見守り	⑦たまり場・憩いの場の設置
50～59歳	③送迎や買い物代行など生活支	①高齢者の見守り	⑦たまり場・憩いの場の設置
60～69歳	①高齢者の見守り	③送迎や買い物代行など生活支	④災害時の支援
70歳以上	①高齢者の見守り	③送迎や買い物代行など生活支	⑦たまり場・憩いの場の設置

問20 子ども達を健やかに育むためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①子ども向け講座やイベントの開催	279	10.4%
②地域ぐるみのあいさつ運動	469	17.4%
③放課後や休日の子どもの居場所づくり	490	18.2%
④子どもの登下校時の見守り活動	417	15.5%
⑤子ども会やスポーツ少年団の充実	297	11.0%
⑥子ども達の学習の支援	175	6.5%
⑦地域の歴史や文化を学ばせる	115	4.3%
⑧子ども達のボランティア活動の支援	203	7.5%
⑨子どもと母親が気軽に集まれるたまり場づくり	228	8.5%
⑩その他	17	0.6%
合計	2,690	100.0%

「その他」の主な回答

- ・子ども達への読み聞かせ
- ・子ども会の育成指導、学校との連携
- ・安全に遊べる公園、広場づくり
- ・子育てに関する勉強会の開催、親を教育する
- ・各家庭がしっかり近所付き合いすること
- ・各家庭の問題である など



【参考】年齢別にみる子ども達を健やかに育むためにみんなで取り組むと良いこと

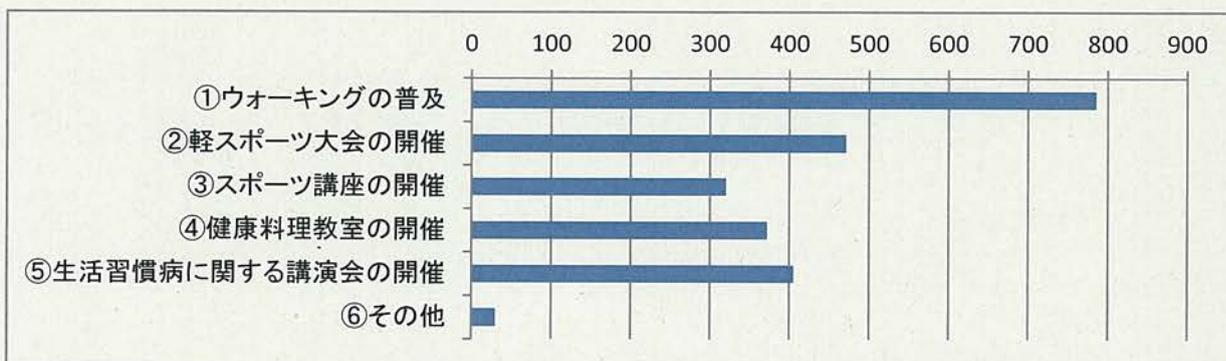
年齢区分	第1位	第2位	第3位
16～19歳	⑤子ども会やスポーツ少年団	③子どもの居場所づくり	①子ども向け講座やイベント
20～29歳	③子どもの居場所づくり	⑤子ども会やスポーツ少年団	④子ども見守り活動
30～39歳	③子どもの居場所づくり	④子ども見守り活動	⑨子どもと母親のたまり場づくり
40～49歳	④子ども見守り活動	③子どもの居場所づくり	⑤子ども会やスポーツ少年団
50～59歳	③子どもの居場所づくり	②あいさつ運動	④子ども見守り活動
60～69歳	②あいさつ運動	③子どもの居場所づくり	④子ども見守り活動
70歳以上	②あいさつ運動	④子ども見守り活動	③子どもの居場所づくり

問21 健康増進のためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①ウォーキングの普及	785	32.9%
②軽スポーツ大会の開催	471	19.8%
③スポーツ講座の開催	320	13.4%
④健康料理教室の開催	372	15.6%
⑤生活習慣病に関する講演会の開催	405	17.0%
⑥その他	30	1.3%
合計	2,383	88.6%

「その他」の主な回答

- ・ウォーキングコース、サイクリングコースづくり
- ・ウォーキングマップの作成
- ・散歩道、登山道、の設置
- ・予防医学の普及
- ・スポーツ施設、ジム、河川敷を利用したジョギングコースの整備
- ・ラジオ体操の普及
- ・奉仕活動、農作業による健康づくり
- ・集団健診受診率の向上 など



【参考】年齢別にみる健康増進のためにみんなで取り組むと良いこと

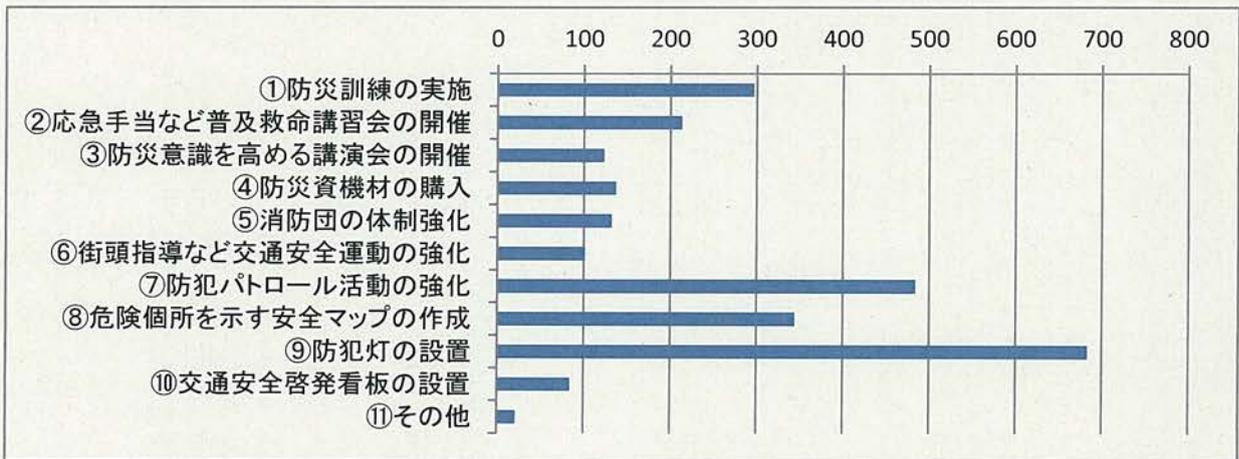
年齢区分	第1位	第2位	第3位
16～19歳	②軽スポーツ大会の開催	①ウォーキングの普及	④健康料理教室の開催
20～29歳	①ウォーキングの普及	②軽スポーツ大会の開催	④健康料理教室の開催
30～39歳	①ウォーキングの普及	②軽スポーツ大会の開催	③スポーツ講座の開催
40～49歳	①ウォーキングの普及	③スポーツ講座の開催	⑤生活習慣病に関する講演会
50～59歳	①ウォーキングの普及	⑤生活習慣病に関する講演会	②軽スポーツ大会の開催
60～69歳	①ウォーキングの普及	⑤生活習慣病に関する講演会	②軽スポーツ大会の開催
70歳以上	①ウォーキングの普及	⑤生活習慣病に関する講演会	②軽スポーツ大会の開催

問22 安心して暮らすためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①防災訓練の実施	296	11.3%
②応急手当など普及救命講習会の開催	213	8.1%
③防災意識を高める講演会の開催	123	4.7%
④防災資機材の購入	137	5.2%
⑤消防団の体制強化	132	5.0%
⑥街頭指導など交通安全運動の強化	101	3.9%
⑦防犯パトロール活動の強化	484	18.5%
⑧危険個所を示す安全マップの作成	344	13.1%
⑨防犯灯の設置	683	26.1%
⑩交通安全啓発看板の設置	84	3.2%
⑪その他	21	0.8%
合計	2,618	100.0%

「その他」の主な回答

- ・ 遊泳禁止看板の設置
- ・ 防犯カメラの設置
- ・ 消防団員の勧誘、防災士の育成
- ・ 避難場所の整備、武儀川堤防の補強
- ・ 地域で人との関わり合いをしっかりと持つこと（人間関係を深める）
- ・ 武芸川交番の増員 など



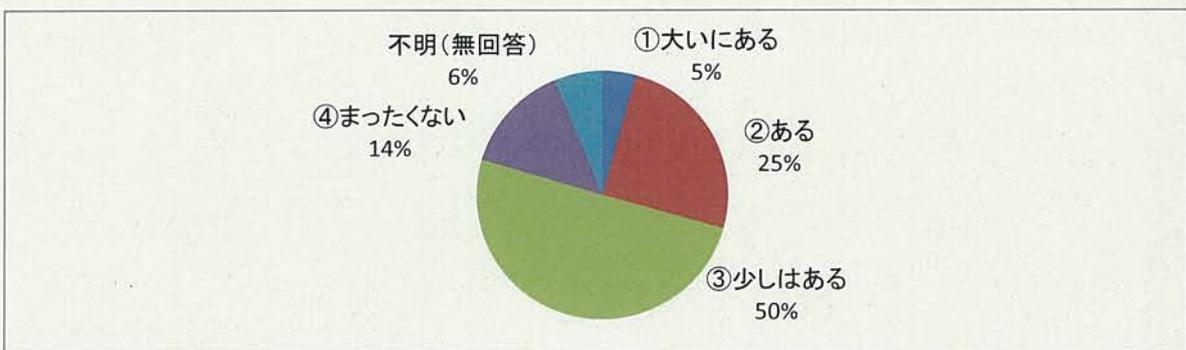
【参考】年齢別にみる安心して暮らすためにみんなで取り組むと良いこと

年齢区分	第1位	第2位	第3位
16～19歳	⑨防犯灯の設置	①防災訓練の実施	②普通救命講習会の開催
20～29歳	⑨防犯灯の設置	⑦防犯パトロール活動	①防災訓練の実施
30～39歳	⑨防犯灯の設置	⑦防犯パトロール活動	⑧安全マップの作成
40～49歳	⑨防犯灯の設置	⑦防犯パトロール活動	①防災訓練の実施
50～59歳	⑨防犯灯の設置	⑦防犯パトロール活動	⑧安全マップの作成
60～69歳	⑨防犯灯の設置	⑦防犯パトロール活動	⑧安全マップの作成
70歳以上	⑨防犯灯の設置	⑦防犯パトロール活動	⑧安全マップの作成

まちづくり活動への参加についてお聞きします。

問23 まちづくり活動に関心ありますか。

項目	回答数	割合
①大いにある	69	4.3%
②ある	406	25.1%
③少しはある	813	50.2%
④まったくない	229	14.2%
不明（無回答）	101	6.2%
合計	1,618	100.0%

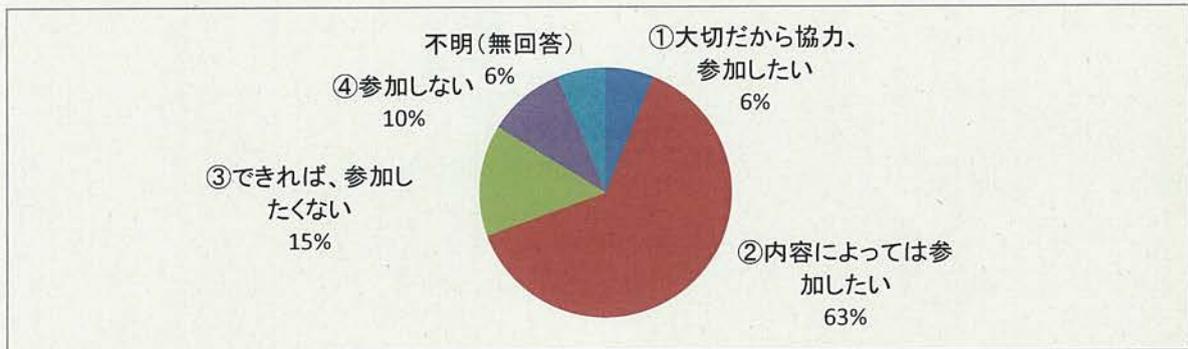


【参考】年齢別にみるまちづくりの活動への関心

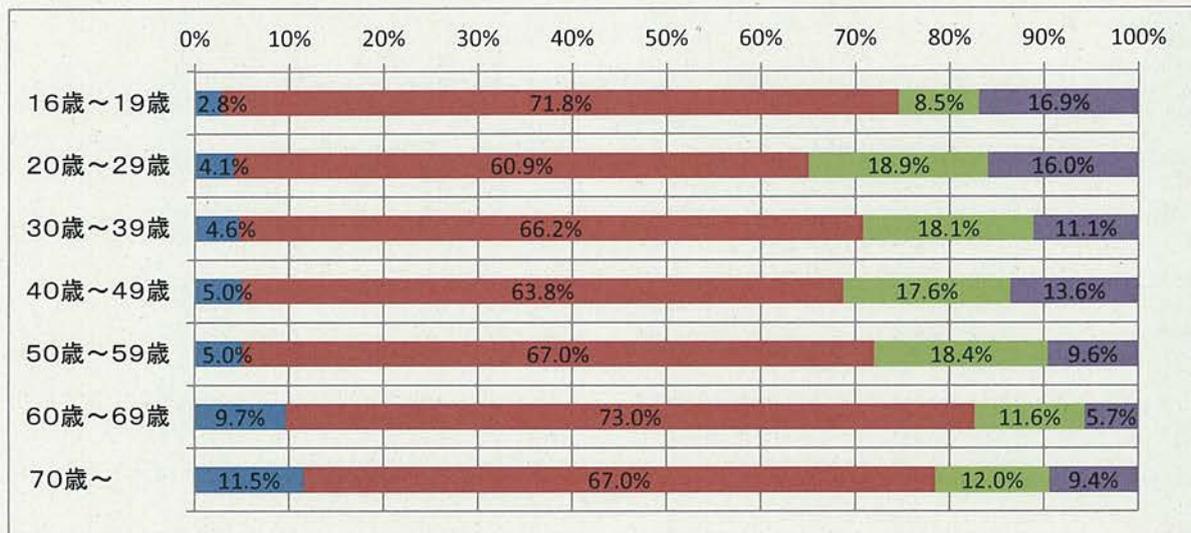


問24 まちづくり活動への参加についてどのように思われますか。

項目	回答数	割合
①大切だから協力、参加したい	100	6.2%
②内容によっては参加したい	1,023	63.2%
③できれば、参加したくない	233	14.4%
④参加しない	162	10.0%
不明（無回答）	100	6.2%
合計	1,618	100.0%



【参考】年齢別にみる地域貢献活動やボランティア活動に対する考え

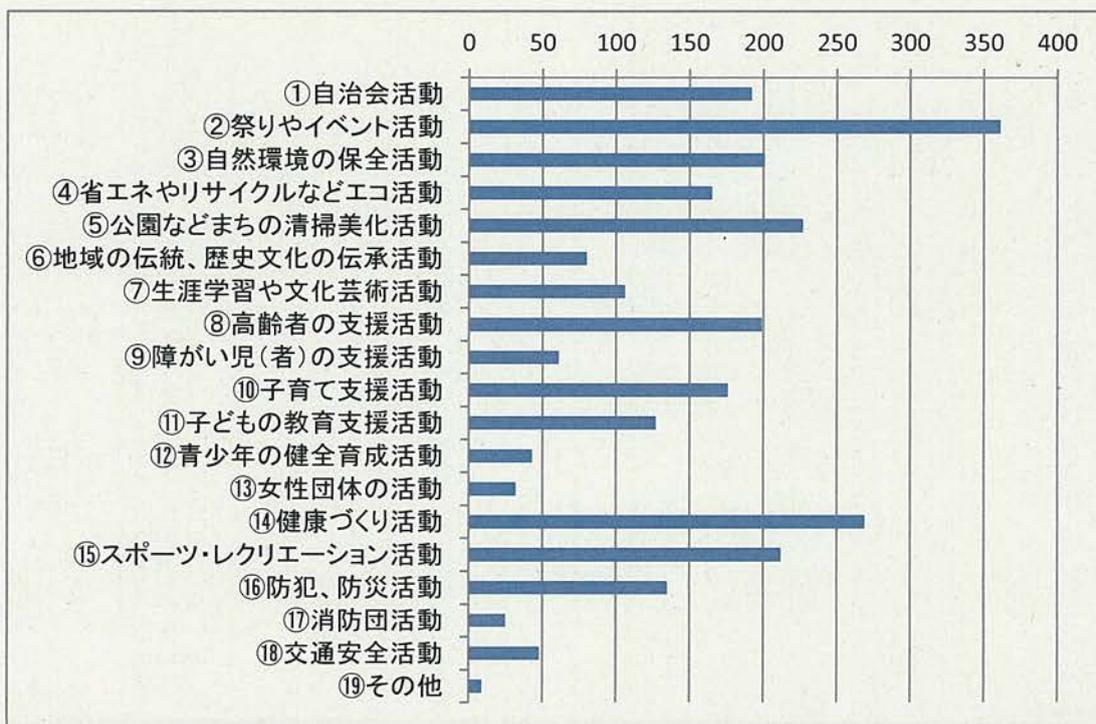


問25 問24で、①、②を選んだ方にお聞きします。今後、どのようなまちづくり活動に参加したいですか。

項目	回答数	割合
①自治会活動	192	7.2%
②祭りやイベント活動	361	13.5%
③自然環境の保全活動	201	7.5%
④省エネやリサイクルなどエコ活動	165	6.2%
⑤公園などまちの清掃美化活動	227	8.5%
⑥地域の伝統、歴史文化の伝承活動	80	3.0%
⑦生涯学習や文化芸術活動	106	4.0%
⑧高齢者の支援活動	199	7.5%
⑨障がい児(者)の支援活動	61	2.3%
⑩子育て支援活動	176	6.6%
⑪子どもの教育支援活動	127	4.8%
⑫青少年の健全育成活動	43	1.6%
⑬女性団体の活動	32	1.2%
⑭健康づくり活動	269	10.1%
⑮スポーツ・レクリエーション活動	212	7.9%
⑯防犯、防災活動	135	5.1%
⑰消防団活動	25	0.9%
⑱交通安全活動	48	1.8%
⑲その他	9	0.3%
合計	2,668	100.0%

「その他」の主な回答

- ・子どもと一緒に参加できる活動、子どもの安全を守る活動
- ・音楽イベントの開催、各種講演や講和を聴きたい
- ・美濃市のようなまちづくり活動 など

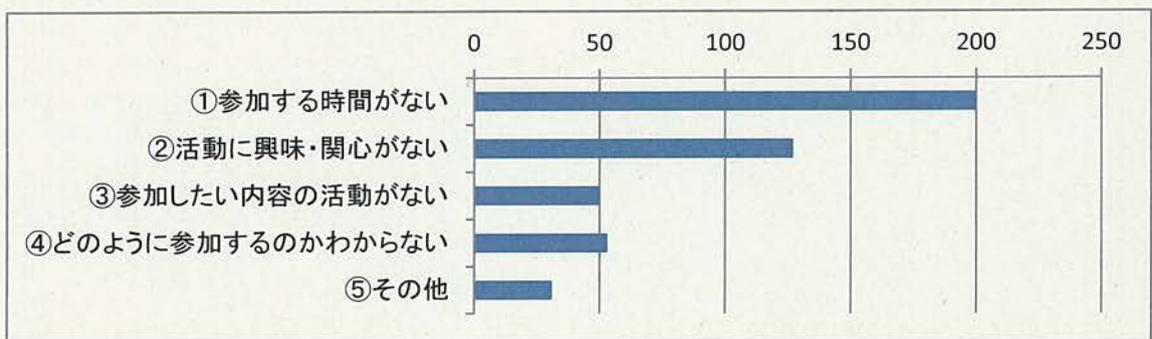


問26 問24で、③、④を選んだ方にお聞きします。まちづくり活動に参加したくない(参加しない)のは、どのような理由ですか。

項目	回答数	割合
①参加する時間がない	200	43.4%
②活動に興味・関心がない	127	27.5%
③参加したい内容の活動がない	50	10.8%
④どのように参加するのかわからない	53	11.5%
⑤その他	31	6.7%
合計	461	100.0%

「その他」の主な回答

- ・時間があれば自分のために使いたい
- ・貴重な休日をボランティアなどに使いたくない
- ・今のままで十分だと思う
- ・まちづくりの意味が分からない
- ・体調不良、病気、高齢、精神的や体力的に余裕がない など

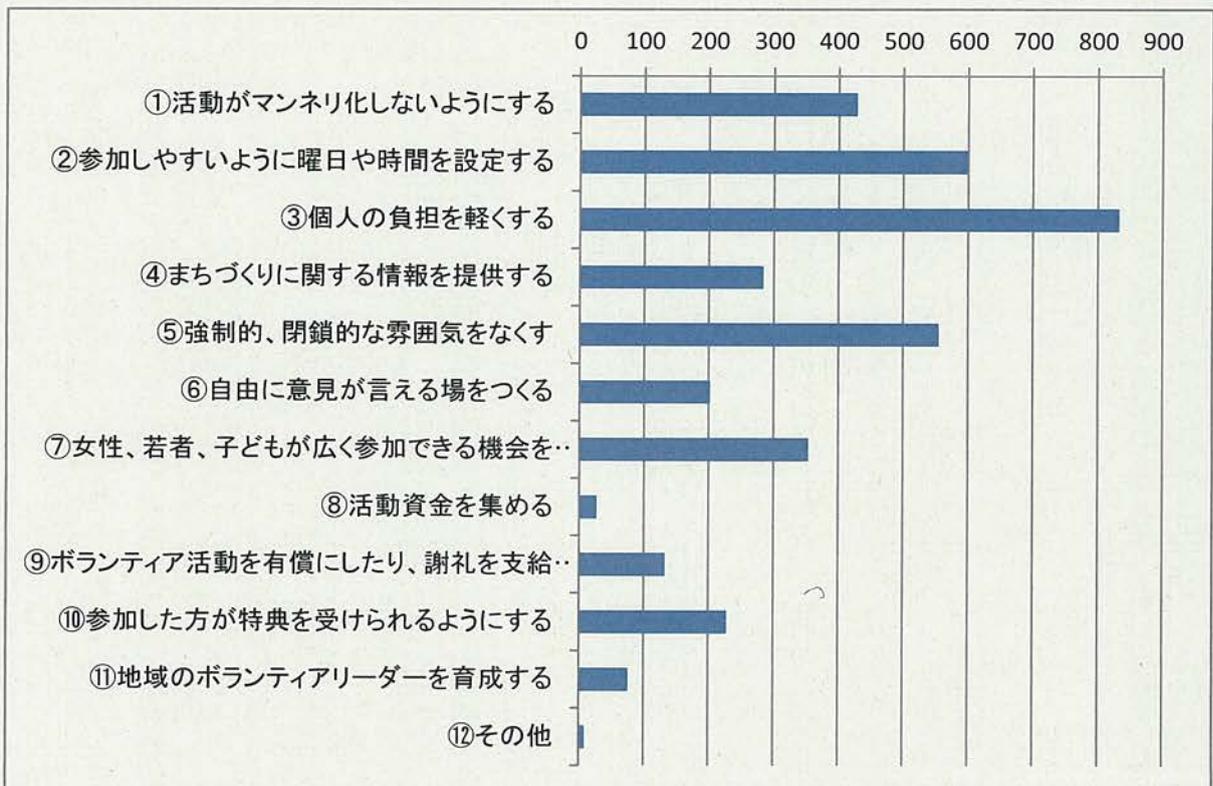


問27 まちづくり活動に多くの人に参加するためには、どのようなことが必要ですか。

項目	回答数	割合
①活動がマンネリ化しないようにする	428	11.5%
②参加しやすいように曜日や時間を設定する	598	16.0%
③個人の負担を軽くする	833	22.4%
④まちづくり活動に関する情報を提供する	284	7.6%
⑤強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす	555	14.9%
⑥自由に意見が言える場をつくる	202	5.4%
⑦女性、若者、子どもが広く参加できる機会をつくる	354	9.5%
⑧活動資金を集める	27	0.7%
⑨ボランティア活動を有償にしたり、謝礼を支給する	133	3.6%
⑩参加した方が特典を受けられるようにする	228	6.1%
⑪地域のボランティアリーダーを育成する	76	2.0%
⑫その他	9	0.2%
合計	3,727	100.0%

「その他」の主な回答

- ・ 定例化した行事を合理的に取捨選択する（行事の精選）
- ・ 古いものを整理しないと負担だけを感じる
- ・ 自治会単位の活動を充実させる
- ・ 仕事に差し障りのない内容にする
- ・ 目的を明確にし、達成度が分かるようにする
- ・ 個人の自由で活動に参加できるような雰囲気にする など



【参考】年齢別にみる参加したいまちづくり活動

年齢区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
16～19歳	②祭りやイベント活動	⑬スポーツ・レクリエーション活動	⑤公園などまちの清掃美化運動	⑩子育て支援活動	③自然環境の保全活動
20～29歳	②祭りやイベント活動	⑬スポーツ・レクリエーション活動	⑩子育て支援活動	⑤公園などまちの清掃美化運動	⑪子どもの教育支援活動
30～39歳	②祭りやイベント活動	⑩子育て支援活動	⑬スポーツ・レクリエーション活動	⑪子どもの教育支援活動	③自然環境の保全活動
40～49歳	②祭りやイベント活動	⑬スポーツ・レクリエーション活動	⑤公園などまちの清掃美化運動	⑩子育て支援活動	④省エネやリサイクルなどエコ活動
50～59歳	⑭健康づくり活動	⑤公園などまちの清掃美化運動	②祭りやイベント活動	①自治会活動	③自然環境の保全活動
60～69歳	⑭健康づくり活動	③自然環境の保全活動	⑧高齢者の支援活動	④省エネやリサイクルなどエコ活動	①自治会活動
70歳以上	⑭健康づくり活動	①自治会活動	⑧高齢者の支援活動	⑤公園などまちの清掃美化運動	②祭りやイベント活動

【参考】年齢別にみるまちづくり活動に多くの方が参加するために必要なこと

年齢区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
16～19歳	①活動がマンネリ化しないようにする	③個人の負担を軽くする	②参加しやすい曜日や時間を設定する	⑤強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす	⑦女性、若者などが広く参加できる機会をつくる
20～29歳	③個人の負担を軽くする	⑤強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす	②参加しやすい曜日や時間を設定する	⑦女性、若者などが広く参加できる機会をつくる	①活動がマンネリ化しないようにする
30～39歳	③個人の負担を軽くする	⑤強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす	②参加しやすい曜日や時間を設定する	⑦女性、若者などが広く参加できる機会をつくる	⑩参加した方が特典を受けられるようにする
40～49歳	③個人の負担を軽くする	⑤強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす	②参加しやすい曜日や時間を設定する	⑩子育て支援活動	④省エネやリサイクルなどエコ活動
50～59歳	③個人の負担を軽くする	⑤強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす	②参加しやすい曜日や時間を設定する	①活動がマンネリ化しないようにする	④まちづくりに活動に関する情報を提供する
60～69歳	③個人の負担を軽くする	⑤強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす	②参加しやすい曜日や時間を設定する	①活動がマンネリ化しないようにする	④まちづくりに活動に関する情報を提供する
70歳以上	②参加しやすい曜日や時間を設定する	③個人の負担を軽くする	①活動がマンネリ化しないようにする	⑤強制的、閉鎖的な雰囲気をつくす	④まちづくりに活動に関する情報を提供する

【参考】地区別にみる参加したいまちづくり活動

地区	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
寺尾	②祭りやイベント活動	⑭健康づくり活動	⑧高齢者の支援活動	①自治会活動	⑤公園などまちの清掃美化運動
森本	②祭りやイベント活動	⑭健康づくり活動	⑩子育て支援活動	⑤公園などまちの清掃美化運動	⑮スポーツ・レクリエーション活動
金屋	②祭りやイベント活動	⑤公園などまちの清掃美化運動	③自然環境の保全活動	⑭健康づくり活動	①自治会活動
桶森	②祭りやイベント活動	⑤公園などまちの清掃美化運動	⑭健康づくり活動	⑧高齢者の支援活動	①自治会活動
洞	⑩子育て支援活動	⑭健康づくり活動	⑧高齢者の支援活動	②祭りやイベント活動	⑪子どもの教育支援活動
市場	⑭健康づくり活動	②祭りやイベント活動	③自然環境の保全活動	⑧高齢者の支援活動	⑮スポーツ・レクリエーション活動
一色	⑭健康づくり活動	⑩子育て支援活動	②祭りやイベント活動	①自治会活動	⑤公園などまちの清掃美化運動
宇多院	⑤公園などまちの清掃美化運動	②祭りやイベント活動	⑮スポーツ・レクリエーション活動	⑭健康づくり活動	⑩子育て支援活動
平	②祭りやイベント活動	⑤公園などまちの清掃美化運動	⑭健康づくり活動	⑧高齢者の支援活動	①自治会活動
小知野	②祭りやイベント活動	⑮スポーツ・レクリエーション活動	⑤公園などまちの清掃美化運動	⑩子育て支援活動	⑪子どもの教育支援活動
八幡	②祭りやイベント活動	⑭健康づくり活動	③自然環境の保全活動	⑮スポーツ・レクリエーション活動	⑩子育て支援活動
高野	②祭りやイベント活動	③自然環境の保全活動	⑤公園などまちの清掃美化運動	⑭健康づくり活動	⑮スポーツ・レクリエーション活動
跡部	②祭りやイベント活動	⑭健康づくり活動	⑮スポーツ・レクリエーション活動	①自治会活動	⑧高齢者の支援活動

武芸川地域に関する自由意見

問28 武芸川地域について、あなたの意見をご自由にお書きください。

【自治会・コミュニティ】

(20歳～29歳)

小中学校の子が下校時に挨拶してくれるので、心が温かくなります。

昔あった地域住民による運動会などを行い、仲を深めると良いと思います。

田舎の風習がなくなると寂しいが、ありすぎても困ります。

(30歳～39歳)

住みよい地域にするためには、幅広い世代の方たちが集まれ活動できるコミュニティーセンター等の設置が必要だと思います。各務原市には、児童館の横に公園やコミュニティーセンター等があり、様々な世代の人達が集まりやすい環境です。児童館も幼児だけでなく小学生のイベントがあったり、コミュニティーセンターも老人のサークルや社会人のサークル(男性の料理教室など)があり幅広い世代が集まれる場所です。武芸川地域にもそのような場所があると住みよい地域になると思います。

昔は子供も多くてどこの地域でも祭りや神輿などやっていたと思う。今は、子供が地区によっては少なくなり、祭り、神輿等が子供の人数が少なくてできないところや高齢化でできないところがある。祭りや神輿ができる地域の子供はよいけれど、自治会の境界でできない子供たちがいることはさびしいと思う。子供の人数が少なく、参加できる大人も少ないとなると、もう少し大きくなり、神輿や祭りがあるといいと思う。

昔に囚われすぎていて、個人の負担が多すぎる。花馬などでも大切にしていけることは良いが、仕事を休んで参加しなくては行けなかつたりすることが多すぎる。

強制的雰囲気は良くない。

色んな方々の意見や他の地域の活動などを参考に武芸川がもっと住みやすくもっと元気のある町になっていったらいいと思います。

活動に参加される方の年齢が高いため、若い世代の交流が必要です。顔や名前も分からないということもあるので、時々、若い世代の参加も必要だと思う。

若い世代が住みやすいまちづくりを進めていくべき。市外から移り住む市民が増加することが大切であり、古い習慣やしきたりがあるがために、自治会に加入したくないとの意見も多い。外から入ってくる人々が住みやすいと感じられる空間や地域づくりが重要であるとともに、家族の中に一緒に住む子ども、孫たちがこの武芸川に住み続けたいと思うことが、外からの若い世代の人々も同様に感じると考えられる。田舎には素敵な所がたくさんあるし、住みやすい自然も多い。あとは、そこに住む古い考えや古い習慣の人々が、外から入ってくる人を受け入れる体制を少しずつ変えていくことが必要であると考えます。

どこの町に住んでいても大切なことは住民の絆だと思う。ご近所付き合いはこれからも大切にしたい。周りに知人、友人がいると安心だし、町が好きになり、地域の活動にも参加しやすくなると思う。そのためにはどうすればよいのかと色々考えますが、子どもが幼い頃は子ども同士で遊んだり壁もなく、知らない家族が話せるきっかけが自然とできるので、幼い子から楽しめるイベント、教室など開くと若い世帯も住み続けてくれるのかも思う。子がない世帯の方も楽しめる趣味サークルを増やし、赤ちゃんから老人の方までつながって楽しめるイベントもやっていくとよいと思います。

(40歳～49歳)

自治会活動について、部長の数が多すぎ、負担である。例えば、月1週で何らかの活動に参加するためせつかくの休日がつぶれ旅行等に行けない。また、連休の日を狙ったボランティア活動はやめてほしい。若人が地元を離れるのは、消防団やボランティア活動の負担が多すぎることを年寄りには判っていないことが一番の問題だ。広報誌の月二回の発行を一回にすれば、それだけ予算が少なく済み、ゴミ袋代を値上げしなくてもすむのではないか。安直に値上げしすぎる。その他として、公民館や集会所の屋根に太陽光発電施設を整備し、それを地区の収入に回すことはできないか。社会福祉協議会等が協力金を徴収しているが、自治会に入っていれば半強制的であり、一体何に使っているかと疑問に思う。必要なら税金から徴収すれば公平に徴収できるだろうに、自治会未加入者は徴収されず、不公平感がするから不愉快である。

ゴールデンウィークなど連休中に自治会活動があります。せつかくのまとまった休みなので、日程を変更してほしい。交通安全などの協力費の負担が他市の倍です。領収書もないものもありますし、使途不明なものもおかしな慣例ですね。一般の家庭ゴミを燃やすお宅があります。匂いや煙だけでなく、燃えない卵の殻や空き缶などを付近に放置するので、マナーを守っていただきたいです。祭礼が多い。春と秋にするとか、臨機応変に対応してみたいかですか。「昔は、あーだった。こーだった。」と考へに固執すると若者は寄り付きません。ますます過疎化します。自治会に入っていないければ、お金や時間に縛られることもない。なぜ、若者が移住するのか、歩み寄りが“まちづくり”の第一歩ではないでしょうか。

自治会の活動内容を関市へ通達できるようにした方が良くと思う。

武芸八幡で組が8つに分かれています。最近世帯数の隔たりが目立ち、少ない組と多い組の差が大きいように思えます。行事を行うにしても、少ない組は支障ができていますので、この問題をどうにかしないと先行きが不安です。

伝統のある祭を通して、住民の絆があり(新旧関係なく)どちらかといえば住みやすい所がいいと思います。他の地域に比べ、子どもと老人の交流があると思う。

高野4班は、みなさん優しく協力的でとても過ごしやすくありがたいです。

会報をまわすだけではなく、その後のフォローもしていくとよい。年寄りは読まない、理解できないことで損をしていることが多いと思う。税金を払っている分は活用したい。関市より武芸川町としての方が楽しかった気がする。

集まりごと、行事には出席し、交流を図ることがコミュニケーションやつながりを深める一番の方法だと思います。外から来た人の一人だからその大切さを強く思います。マイナス思考では何も生まれません。ポジティブに動けるように努めたいです。

高齢者の方の考へをもう少し柔軟にされたらいいのではないかと思うことがとても多い地域だと思います。今の時代に合った方針を取ることに頭から反対されたり、「昔からの流れを変えてしまうのは良くない」ということがあり、サラリーマンの家庭や共働きの家庭にはつらいことがあります。周囲の家のことをあまりにも興味を持ちすぎて、人の話をおもしろおかしく言ったり、深く関わりすぎだと思えます。3世代家庭の多い地域なので、なかなか自分たちの家庭という訳にいかず生活しづらいと思えます。

活動内容がマンネリ化しているが、役員などで参加しなければならない。仕方なく参加している感がある。

人が帰ってきてもいいと思うような地域にするのが1番ですね。定期的に顔を合わす機会をつくって雑談することだと思います。

(50歳～59歳)

私達家族は30年住み慣れた岐阜市から6年前に武芸川地域に越して来ました。私達の年齢で良かったと思いましたが、自治会の方々からは、どうせよそ者という目で見られ、新しく入って来た若い人達とは考へが合わず、大変な所に来たと反省しきりです。だからといって元にもどれず、これから先がとても心配しております。何か周りの住民の方々とも少しも絆を深める事ができると良いとは思っていますが、家の外は車も人もほとんど通りません。年に1回でも2回でも武芸川地域全体の行事があると少しでも他の自治会の方と顔見知りになれるのではと思います。

まだ詳しく武芸川地域のことが把握できないため意見を書くことはできませんが、今後、様々な活動に積極的に参加し、みなさまとの交流を深める中で地域づくりに参加できればと考えています。

住民の絆を深めるためには、今昔写真集を各区でつくるのはどうでしょうか。子どもからお年寄りまで参加できると思っています。古い写真がこの先どんどん処分されていってしまいます。

子どもも手を離れ、近くに住む方々にも会うことが少なくなってしまう、絆どころか顔を合わすことさえほとんどない毎日なので、情報交換などもっとできるようになればと思います。

この武芸川地域も都市化してしまっ、隣近所の付き合いやつながりが希薄になってきているように感じます。もう何年も自治会の寄合もありません。これでは何かあった時、隣近所同士協力し合えるか不安になります。そのために自治会単位で何かイベント的なものでも行い、顔を合わせ、行動を伴ってできるようなことがあればいいのではないかと思います。

住みよい地域にするためには、若者たちの力が必要であり、一人でも多くの若者がこの地域に居座ることが不可欠です。そのためには、働く場所の確保が必要だと思います。武芸川事務所及び農協などの職員は一人でも多くの地域在住者が勤めていた方が、住民との絆が深まり、住みよい地域になるのではないのでしょうか。

車のある家はそれなりに日常生活には困らないと思うけれど、高齢の方の世帯では不便なこともあると思います。そういう所の助けがいるのではないかと思います。それと、私の家の周りにも空き家が増えています。そういう所は暗いですし、夜はもう少し外灯が必要ではないかと思います。田舎だからといって安心ばかりもしてられないこともあります。自治体などの協力、チェックも必要になってくるのではないかと思います。

若い世代30代、40代が自治会活動に参加し、リーダーシップを取っていけるような体制を確立できるような土台づくりが必要だと思います。現在の自治会リーダーは、60代、70代の前半で、事なかれ主義、全ての事に無関心の方が我地域では多いように感じます。旧関市では、今でも自治会での行事を伝承しいけるので、地域の絆が保たれているようです。

山川のバランスがよく、住みやすい所です。道も広くプライベートな部分も守られていていいと思います。過疎化も進んでいないので、家族が多い家が多く、家族が助け合っている地域だと思います。孤立化している老人も多いので、地域の助けが必要だと思います。

都心は新しい情報であふれ、私たちの武芸川町は都心と比較するとこの点では劣っていますが、人と人とのつながり、自然がいっぱいという点では150%以上で満たされています。子どもを育てるにはとても良い環境です。20代、30代の我が家の子どもにもご近所のおばあちゃんがいつてらっしゃいと手を振ってくださる。あたたかいですよね。心を育てていただいている。大切ですよね。交通の便の悪さ、買物する場所が遠いという点が満たされJRまで短時間でいければ、100年でも住みたいですね。住民の絆を深めるには町内での子どもからお年寄りまでの「バス遠足」などのような血の騒ぐような行事をして絆を強くしたいものです。

何と言ってもあいさつですね。多くはないけれど、こちらから「こんにちは」「おはよう」と言っても、何も言わずに行ってしまうと、住民の絆まではいかない。やはり、その人、その子どもたちと遠くなって、次から言わなくなってしまいますね。会釈までとは言わないけれど、会ったらまずあいさつですね。

昔に比べて地域で取り組む行事が少なくなっていると思います。近所付き合いもあまりなく、何かあった時でも近所の方が何も知らないなんてことも少なくないと思います。まずは、身近な方々とか関わり合えるイベント等があると良いと思います。

地域の高齢化が進み、色々な役員が多いため、毎年何かしらの役員をやらなければならないのが現状です。役を少なくすることはできないのでしょうか。

しきたりが多く大変である。若者達が気楽に住めるように軽減する。関市街の発展はよく目にするが、市外の整備などはほかにされているように感じます。高齢者が生活するには、とても不便です。

昔の仕来たりが多く大変。若達気楽に住めるように軽減する。

自治会の役とか受けると仕事を休んでやらなければならないことが多すぎるので、負担が多くかかる。

移住した人への敬意が必要ではないでしょうか。意地悪ではなく、大切にするのは、家ではなく個だと思います。

住みやすい町だと思いますが、昔からの行事が残っていて、高齢者の方でも役がまわってきているので減らしてほしい。河川の木伐採や撤去等は今年されましたが、大雨や台風の度、川の砂利や土がたまり中州ができて川幅が狭くなったり、水かさが増すのが早くなったりするので、川の中の土、砂利を撤去してほしい。一時、ゴミ袋の問題が出ていましたが、今のままの状況が続けてほしい。

気楽に顔を合わせ集まれる場所があるといい。

(60歳～69歳)

まずは、ご近所が仲良くできることが大切だと思います。小知野地域は、仲良くできていると思います。

自治会活動が多すぎる。特に自治会長になると大変である。

世代交代していく中で、昔から受け継がれている地蔵祭りや津島神社、秋葉神社祭りなど、各地区で続いている祭りを若い人達にもしっかり継承していくことが大切だと思います。そういうことを通して、地域の行末も高まると思います。

まちづくり活動もいいのですが、活動の一つと言っても役員がついてまわることになる。今、自治会の役員を持つ順番等で年をとってもやらなくてはならない。今は、町民運動会がなくなったけど、この時もリレーなどに走る人を、役員が頭を下げお願いした様なわけです。これでは、役員が行っている祭り、イベント、スポーツになりかねないと思う。このまま地域ごとの活動があることとし、住みよいまちづくりと言っても一口には何もできないと思う。

住民の絆を深めるには、今は交流する機会がなくなっています。やはり昔のように集まる機会がある方が絆を深めることができるのかもしれませんが。

<p>近年では、昔のように近所との交わりがなくなっているようです。若い人達は車で行動だけで、地域の人と会うこと、会話することもないようです。私たち年寄りも、若い人の顔も子ども達の名前も知らない状態です。災害などあった場合どうなるのでしょうか。地域の皆さんが顔を合わせる場が必要でないですか。</p>
<p>自治会活動の充実が何より大切です。先進的な活動を行っている自治会を広報等で紹介し、他の模範とさせる。場合によってはモデル自治会として表彰をする。</p>
<p>昔ながらの行事を行っていくには予算もいる。若い人に負担になるので、市からの協力も必要だと思います。</p>
<p>一番大事なことは、家族が全員、心身ともに健康であることです。それが、自治会、武芸川町、関市、岐阜県へと大きくなれば良い。全ては健康であることです。小なくて大無し、大なくて小無し。夏の堤防の草刈りなくすこと。参加できる人が高齢化している。ケガをした時の責任の所在はどうなるのか。自分の場合、2、3日は何もできない。</p>
<p>部落が人口減、高齢化する中で近所付き合いが大事である。気の弱い者や立場の弱い者は部落の中で物事を言えなかったり、行事を起こすことができなかつたりするから、「常に行動を起こす側、物を言う側が気を使うこと」「相手側の立場に立つこと」が大事。例えば、部落の役もできない、間に合わないとは非難しない。ゴミを燃やすのを見ても、近所だから黙っておこうと引いてしまう。次から水くさくなる。祭りなど行事でも、今時こんなやり方はおかしいとは非難しないで、みんなで一緒になってやるということが大事。それが部落意識、仲間意識を高めることと思う。</p>
<p>住民の参加が半強制的になりすぎ。</p>
<p>他府県から来た者ですが、周りの人がみなさん気楽に話しかけていただいて住みよく思っています。ただ、家の周りが少々くらいのが心配です。</p>
<p>町内でいつも話し合うことが大切です。みんなで思いやりの心を持ちましょう。</p>
<p>地域にある各組織と自治会は、何らかの繋がりがあるため、最大組織の自治会の活性化が重要であると思う。先ず、自治会組織の課題は何かについて話し合うことが第一歩である。</p>
<p>私の場合、車に乗って仕事に行き、時間になったら帰宅する毎日です。隣の人が亡くなくても分からないようなそんなあり様です。いざとなると部落での助け合いがとても必要で、横のつながりが大事だと思います。町の行事も、もっとあってもいいと思います。</p>
<p>主旨は分かるし良いことと思うが、昔の「郡」、現在の「中濃」と同様、「武芸川」というのは地理的な意味は存在するが、組織として、またそのための活動資金等について確たる裏付けはなく、スタートしても継続していくことは困難と考える。後ろ向きの意見で誠に申し訳ありません。</p>
<p>武芸川のまちづくりに住民すべてが参加できるような手段を考える。住民、高齢者から子どもまで、それぞれが老人クラブ、また、子ども会の活動を今一度考え、その中に武芸川の今後のまちづくりを入れて考えて行事にする。高齢者から子どもまで一緒に参加し楽しめるイベントやたまり場を考える。</p>
<p>時代、世代の変化に対して旧来の地域のしきたりや風習によるコミュニティ意識が残っており、若い世代が暮らしやすい魅力に欠ける。地域の伝統や歴史の継承は意味あることだが、現代にどのように受け継いでいくかの発想がない。魅力が乏しいため積極的な参加でなくて強制的になる。若者が住み着かなくてはいくら声をかけても活力とはならない。子どもたちにとって魅力ある町になれば若い親たちが住み着く。職場は町外がほとんどであるが、住まいが町内であるので子どもを通じたコミュニティづくりに考えを変えたい。旧来の地域の「付き合い」が、魅力に欠けているともいえる。</p>
<p>神社の行事が自治会の活動と一体になっていて、これからは言うまでもなく線引きが必要ではないかと思えます。必死に働いている人、認知症等の高齢者を抱えて苦勞している人たちもあり、住民に負担の少ない地域であってほしいです。</p>
<p>寺尾地区は特別不便な地区であり、関での大きな行事等にも全くというくらい参加されていません。武芸川町でもひと里離れていて不便です。でも、公共交通機関等のご協力をしていただければ、やはり住み慣れた寺尾は1番いい地域です。これからも色々多くのご協力をいただきたいと思えます。高齢者になった時も安心して、この寺尾に住むことができると1番うれしいです。</p>
<p>地域での助け合いの気持ちを持っている方々がいるので助かることがあります。協力する心を育てることは大切だと思います。</p>
<p>無職でも動けるものは、自分や家族のものを常に清潔に保つよう努力をすること。それが自分のためにも、また地域のためにもなると思えます。掃除や整頓は人間の義務だと考えます。</p>
<p>空家の他地区からの利用と移住を進め、住民を増やす。耕作放棄地を有効利用する。協同で行っても良い環境をつくる。</p>

町内全員を対象とする行事よりも、まず身近な自治会内での活動、行事から呼びかけ、参加することからコミュニケーションを図り、情報提供、収集する。がやがや話をしようと思えば、今やっておられる軽スポーツ、イキイキサロンとかが参加しやすいパターンだと思います。博小、武芸小の子ども達が敬老会や祭礼に参加する姿は、見物客を感動させてくれます。

地域ごとに高齢者が気楽に集える場所があると良いと思います。週一回とかに公民館などに自由に集って色々な話ができれば良いのではないのでしょうか。千本桜の商工会の出店ですが、一定の個人的な物売りをばりばかりではおかしいのではないのでしょうか。誰でも何でも出店できるようにした方が良いと思います。展示室だけでもいいかもしれませんね。使用料はどうなっているのでしょうか。

外国人の受け入れを促進する他、その人達の自治活動への参加を奨励する。

(70歳～)

相手の立場や相手の気持ちになり、やさしく気持ち良い近所付き合いができる地域にしたい。

最近顔を見ても知らないふりをして通っていく人が多くなりました。近くで顔を合わせた時などはみなさん「おはようございます」とか「こんにちは」「こんばんは」とあいさつすれば、親しみもできて住民の絆もできるのではないのでしょうか。自分の子供だけではなく、他人の子供たちにも、良いことは褒めたり、悪いことは叱ったりすることができる人が多くなってほしいと思います。そうすれば子供達のためにも社会のためにも良くなるのではないのでしょうか。ぼくはそう思います。

住民の絆を深めるためには、まず出席者を増やすことに取り組み、役員などの心構えを改革することが大切である。例えば、役の任期が終了したら「はい、さようなら」ではなく、係った事柄にはできるだけ出席をする。まず参加することが大切である。旧役員が手本を示す。

都会のように隣に住む人がどんな人か分からないような町にならないように、地域の行事もある程度必要なのではないのでしょうか。確かに色んなことがないと楽でなのですが、全て色んな面において簡素化されることはいかがなものなのでしょうか。

まちづくりは基本的に人づくりなので自治会、子供会、老人クラブ、サークル等全ての行事、イベントを啓蒙し共有することにより関心を持たせる。また参加した人が他の人達を勧誘したくなるような雰囲気を出せることが大切です。

最近来たばかりで地域のことが分かりません。できるだけ地域に馴染もうとしています。

近所の方々と仲良く暮らすこと。健康に気をつけること。良い子達に迷惑を掛けないように努力する。

思いやりが一番。

自慢は、野菜づくりを通じて日々コミュニケーションを図り交流を深められるところ。住民の絆は、ふれあいサロンで地域のみなさんがお互いに語り確認でき良い行事だと思う。小学生たちが大きな声であいさつをしてくれて元気が出てくる。通学下校時間帯はなるべく畑とか外に出て子どもたちを見守ることに心がけることで明るい社会を築けられるのではないかと思う。

今も色々と地域のイベントがありますが、参加者が少ないと思います。65歳まではみなさん働いています。65歳から70歳以上の人たちの協力が今ひとつだと思います。特に地域の清掃美化活動や住民の絆を深めるため、今あるイベントへの参加を特に男の人をお願いします。65歳から70歳以上の人たちはまだまだ元気です。特に男の人が気軽に参加できるようにしてください。みなさんが楽しく参加できるようなイベントや話題はたくさんあると思います。

【暮らし・生活環境】

(16歳～19歳)

除草を実施している地域としていない地域があるので、全域で均等に実施してほしい。

住みやすい地域にするためには、これ以上道路等を増やしたりせずこのままがいいと思う。ただ、川辺に草が茂りすぎなので、きれいにしてほしいです。

光ファイバーを全地域に通してほしい。

ショッピングモールをつくれればいいと思う。

食料品店ばかりではなく、もっと若者向けの店を増やしてほしい。例えば、書店、ファミレス、ファストフード店などです。

武芸川には、高野にしかコンビニがありません。博愛方面にはありますが、武芸方面にはなくて少し困っています。1つで良いのでコンビニ的なものがあるとみんな助かります。

武芸川町内でも、店のある地域とそうでない地域で差があつて、ない地域は遠くまで行かなければならないので、高野だけではなく全体にあれば、もっと住みやすくして気軽に住むことができる町になっていくと思う。

(20歳～29歳)

遠い地域で生活したことが少しありますが、武芸川町は生活しやすいと思いました。

まず、自分の心身の健康、これが無しでは何もできない。自分の健康は、自分でつくる。他人に迷惑をかける。武芸川町は、魅力も自慢も何もない。

道路の整備をお願いします。

武芸川町は自然豊かで環境が良いが買い物や飲食店を充実してほしい。

武芸小学校区にコンビニを1つつくってほしい。博愛校区まで行くのが少し面倒くさい。

(30歳～39歳)

発展していく他地域と武芸川の違いは何か、買い物先やお出かけ先が他地域となっていることです。武芸川につくれないのか。集客が見込めないなら、武芸川の人口を増やす、増えるための力は何か、大きく動いてはいいかがでしょうか。

自分個人の意見なんですが、各務原イオンやモレラみたいな大きいショッピングセンターをつくってほしいです。つくっても人があまり入らないという心配はあるけれど、そういう商業施設をつくることで、色んな地域の方に来てもらって活発になるとも考えられます。モレラがある所も街ではないけれど人がたくさん入っているので、武芸川でも全然ありだと思います。

(40歳～49歳)

田、畑、空き地等でゴミ等を燃やすのをやめてください。夜も煙で不快な思いをします。ゴミは分別されつつありますが、草、木、廃材などの収集も考えてもらえると、燃やす方も少なくなると思います。

武芸川町の自然を何かに利用したい。自然はこのまま残して人口を増やしたい。農業をもっと盛んにして、農業体験をしてもらい、空き家を貸し出して住んでいただく。子供もゆったりとした環境で育てたほうが人間性も育っていくので、家族で住んでいただけるようにする。今のハイテクな生活ではなく、昔ながらの生活ができることをアピールする。

最近、猿が毎日のように時間を問わず出ます。近所の高齢者の方々も困り果てて「こんな所にいたくない」との声まで聞きます。市が先頭になって猿撲滅に向けて、地域を動かしていってくれば、みんなその気になって動いてくれると思います。真剣に取り組んでいただかないと、そのうち高齢者や子どもたちの弱者に襲いかかるようなことになれば、住む人は少なくなっていくと思います。

家の周りの山を整備してほしい。山水が多い。雑林が多い。今は実費で除草をおこなっています。

あまりにも通信環境が悪すぎるので改善した方が良くと思う。

熊出没が多くみられるので、事故が起きる前に何とかしてほしい。

スーパーなどの食料品や子どもの文房具などを割安で購入できるお店を充実させてほしい。

(50歳～59歳)

寺尾坂の早期整備をお願いします。

最近、特に洞地区では、毎日猿が民家へ出没しており、農産物の被害はもちろんのこと、人への被害、特に子どもや老人が危険な目に遭うのではと危惧している。市には安心して生活できるよう対策をお願いしたい。

住宅地を整備すると良い。

川原、バーベキュー、キャンプ、釣り人のゴミの放置が問題です。

高野のバローをもとのマルキにしてほしい。バローに行っても高いだけで買うものがない。

(60歳～69歳)

武芸川町は昔に比べて地域に銀行、郵便局、サークルK、バローなど色々あり、不便がなく、とても住みやすい所になりいい所だと思います。

武芸川町地域に住むようになってから35年以上になりますが、昔から時間帯を考えず草など燃やして、洗濯物や布団干しの上天気などに燃やされた日には、もうこの怒りを直接言ってやろうかと何度も思いました。地域住民でこれからも住み続けるために自分が辛抱してきました。1人1人が相手の立場を考えて迷惑かけないような気持ちにならなければ、住みよい武芸川地域にはならないでしょう。時間帯を考えやめれば済むことなので、みんなに思いやりの気持ちを持ってほしい。

理想はありますが、現実には厳しいと思っています。車で走っていると、道路脇の草が刈られていなかったり、道路が整備されてなく大きな水たまりができたりしています。国道の花壇に花が咲いていた頃は、以前は綺麗だと思って走っていました。もう花を植える計画はないのでしょうか。他県から来た人は、美しい山や川を見て、武芸川は良い所だと言ってくれます。道も美しくあってほしいです。

歩いて行ける所にお医者さんなどができるといいと思います。

雪が降ってたくさん積もった時、メイン道路だけの除雪だけではなく、もう少し細い道路まで除雪してほしい。関市になる前はしっかり除雪していただけた。

国道沿いの夏の草刈り時期を早める。外国人労働者の交通マナーを向上させる。挨拶ができ素直な子が多い。ペットの糞は飼い主が責任を持って始末してほしい。

(70歳～)

近所の家に人が住んでみえないため、草や木が全く始末されていません。また、家も古くなって蛇、ハクビシン等が住みついていて、近所では手がつけられません。家主の方へ問い合わせても連絡も取れず困っています。武芸川事務所に問い合わせても、個人情報だからと言って取り合ってもらえませんでした。近所の方で木を切ったり草を刈ったり少しずつやっていますが、こんな問題を今一度検討していただけないでしょうか。

寺尾坂上りのSカーブの拡張工事の早期完成をお願いします。

谷川河川の川底の土を取り除いてほしい。桶森地区の生活道路を広くしてほしい。今では誰もが車で出かける時代です。見通しも悪くて歩いていても前後の車が見えず、車の音で急によけなければならず大変危険です。

何でもかんでも可愛いからと言って動物に物をやらないでほしい。周りの庭や畑に糞をしたり、やっとなできなかった作物を掘り起こしてしまいます。

学校、医院、スーパーは近くにあるし、みなさん良い方ばかりで、とても住みよいです。

集落内に日頃管理されていない林がある。土地所有者が管理しないので林になった。行政指導を願う。

市道の舗装が非常に悪い。自転車では危なくて安心して乗れないので早急に対応してほしい。

空き地等の草刈をお願いします。県や市が所有する土地もお願いします。

住みよい地域にするためには、耕作放棄地や空地の管理する。所有者を調査し、本人が管理不能な時は、一括管理できる組織づくりをする。また、賃貸借を現法の範囲内で簡単にできる方法を考える。里山や竹林を整備する。方法は耕作放棄地や空地の管理と同じ。ボランティアは有償とし、それなりの謝礼を支給できることを考える。いずれにしても、長続きさせるために、どの行事や活動も参加者へメリットを与えることを検討してください。

【自然環境】

(16歳～19歳)

この町のいい所は、きれいな自然だと思います。でも最近は、川にゴミが捨てられていたりしてとても悲しいので、環境保全に取り組むといいと思います。

(20歳～29歳)

山、川など自然がたくさんあるので、もっときれいなイメージがもてるよう清掃活動など行ったら良いと思う。

歴史や自然、特産品のアピールのためのWebサイトをつくってはどうか。

安全のために柵などつくるのは分かるが、それによって自然で遊べる場所が減ってきている。自然が多いから武芸川が好きなのに、減ってきているから残念だ。

自然を守り、若者が外へ出ていかない環境をつくる。

自慢できる場所は、桜がきれいに咲くこと。水路が整備されたところでも蛍が結構でること。

武芸川地域が住みやすく活性化するためには、住民一人一人が協力し合いボランティアや清掃活動に参加できるまちづくりを行ってほしいです。武芸川地域は自然が豊かで素晴らしい町だと思っているので、これからのような住みやすくきれいなまちづくりを目指して行ってほしいです。そして残して行ってほしいです。

(30歳～39歳)

最近ホテルの姿をよく見かけます。ホテルの里等を整備してみたいかがでしょうか。

草まみれで、どこを走っても汚すぎる。町外からのお客様の印象が悪くなる。シルバーを活用して、綺麗な道、山、川づくりを提案します。

普段の生活の中で思うことは、道路の両脇の草だけではなく、街路樹の枝もきれいに切ってほしいです。木が生い茂っているのは防犯的にも良くないし、野生動物に対しても良くないことです。きれいに整備されている地域もあるが、そうでない地域もあります。自転車の人にも危険だと思います。雪が降った時は、奥の方の除雪に力を入れてもらいたいです。役場周辺の状況で判断するのではなく、積雪の多い場所のことを考えて除雪してもらえると助かります。狭い武芸川でも、地域によって環境も天気も違うので、全ての人が住みやすい町づくりをしてほしいです。

自然が多い武芸川町が大好きです。昔あった歩け歩け大会などを行っていただけると地域の方同士が触れ合えて良いと思います。

千本桜やホテルなど自然が豊かなところが素晴らしいと思います。しかし一方で、千本桜の駐車場には野良猫が多く、住宅地の方まで来ることがあり、衛生の面で不安を感じることがあります。

(40歳～49歳)

堤防に生い茂る草を少なくするためにコンクリートで埋めてほしい。

河川、河原をきれいにして公園を増やし、みんなで遊べる場所を増やす。放課後、公民館等を解放して子どもたちが集まってみんなで遊べる場所を増やす。

(50歳～59歳)

今のままで子どもを育てるにはとても良い環境なので、企業や娯楽施設を呼び込む必要はないと思う。

武芸川町の中心を流れる武儀川があまりにも汚くなってしまった。遊歩道的な歩道もあるので、河川整備されたら楽しく歩きたい。

「まちづくり」が行政に片寄りすぎています。もっと武芸川町にある自然、守り続けられてきたスタイルを大切にしたいです。都市は都市の、地方は地方の特色を活用しないと、中途半端な使い物にならない「まちづくり」になってしまいます。

信用金庫の前の道路をもう少し美しくしてもらえませんか。シルバーに任せて花を植えたらどうでしょうか。

河川の草、雑木が多すぎる。切り取って燃やすことはできないものか。見た目も悪いが、子供の遊び場にもならない。

(60歳～69歳)

地域の魅力は、自然が美しく、山や川もあり、都会から帰省するとその自然の美しさに改めて、武芸川は住みやすい素敵な町だと実感します。住みよい地域にするためには、住民一人一人が自然を大切に、ゴミを出さない、みんなが年長者を敬い、仲よく、若者は力限り町の良さを伝えていけば、今後すばらしいまちとなると思う。それに向けて、できる範囲で協力はおしまないつもりです。

個人ではきれいにしてみえる家庭が多いのですが、道路はあまりきれいではないと思います。道路脇の草刈、ごみ拾い等定期的に順番でも行えば、きれいになり、もっとみんながウォーキング等楽しくできると思います。きれいにすれば、ゴミや犬のフン等できないと思います。これからの武芸川町を担う子供達の育成に少しでも協力できたらと思っています。

山が雑木だらけで大変汚くなっている。もう少し手入れし、綺麗な山にすると良い。昔の山はすごく綺麗でした。

谷口地区には、猿や猪等に畑を壊され、色々な作物が満足に収穫できなくて困っています。何とかならないか。

武芸川の象徴は川だと思います。なのに流れが武芸川に入ったとたん汚く感じます。ぜひ、美しい景観と流れを取り戻し、子ども達が安心して泳げる遊泳場があれば、一生の思い出になることでしょう。地理的にも恵まれていますので、一時間以内に結構移動することができます。青年層の定着を図り、子育てはぜひこの武芸川町でと思っています。その為には、安価な住宅の提供もしくは住宅支援等も良いかと思っています。

道路の緑石周りに生えている雑草がとても気になります。草刈りの時、同時にきれいにしてほしいです。

空き缶などゴミは持ち帰る。(人間教育の問題)

関市になってから、草刈り、雪かきの回数が減りました。うんざりしています。

自然環境の保全。最近平地域では自家菜園で野菜つくっている人が多い。安全で安心して、しかも新鮮な野菜を食べることができている家庭が多く見受けられます。自分たち、子、孫に薬品を使っていない新鮮な野菜を家族で食べることができるってことはとても大切なことだと思っています。また、それが同居するきっかけにもなり、町を大切に育てていける元気の元になるので、がんばりましょう。自分たちの健康は自分たちで守り、いつまでも自分のことは自分でできるってことは素晴らしいことです。自分たちの地域は自分たちで力を合わせて守り、子供達を自然の中で育てたいです。

車で行く時は気が付きませんが、歩くと気になるのが道路の草や花です。バローから事務所までの花壇、どうにかならないかしら。

武儀川の美化(中洲の撤去、堤防を菜の花でいっぱいにする)、武儀川の活用(駅伝・夏祭り)、ワンコインボランティア(ポイント・チケット制でもいいのでは)、ボランティアの内容を具体的に開示して、互いに利用し合え、気楽に頼めるネットワークをつくる。

武芸川高野地域のフラワーロード、地域の堤防の草刈りの改善をお願いします。高齢のため、いずれは参加できなくなるから。

嫁いで45年近くになりますが、以前は家の周りを水が走っていました。それが今年は一滴も水が来ません。田んぼの中に水が入るので困るそうですが、生活していくための水です。水口の四角い升のところでカエルが卵をいっぱい産みましたが水が来ないので全部死んでしまいました。サワガニも死んでいます。昨年までは通る子供を呼んで「カエルが卵を産んでいるので見て」と言って呼びかけたり、虫をつかまえたり、クローバーをつんで花の首飾りをつくってあげたり、自然の中で子供と遊びました。少しでもいいので水をください。アンケートをとることより、戦後生まれの私たちは何不自由なく育ったためにこれから生まれる子、今を生きる子に自然の大切さ、環境問題は自分自身のことなので一人一人が気を付けて生活しなければいけないことを教えてください。森林環境税をJAはもらっているそうです。めぐみの森は形だけですか。田んぼも大切でしょうが、私にも水を少しでもいいから水をください。

まちづくり活動の一環として、山林を通じて、次の項目を達成していく。安心な地域づくり、市民の憩いになる森づくり、針葉樹から広葉樹への切り替えによる環境づくり、観光化の発展づくり、民間資金の導入を図る。武芸川町の大半は山林です。山が良くなれば川も良くなることは定説です。ぜひまちづくりの中に山林を位置づけていただきたい。環境面からは、治山治水において山林の手入れができれば4倍の保水力が高まるという学説があります。森林組合任せでなく地域住民の知恵と力にとっても山林整備を進める仕組みづくり(美濃市に例がある)が必要と考えます。武芸川町でも我々のNPO活動で実践しましたが、NPO活動だけでは限界を感じました。まちづくりの中に位置づけていただきたい。観光経済では、寺尾にある470haの財産区は、昭和30年代から巨万の富を目指して杉、ひのきを植林してきました。しかし、現在伐採期を迎えても材価が安くお荷物になっています。財産区管理会では、今後の山林整備計画の中に、木材価値から環境、観光的価値への発想の切り替え、社会の価値観の変化に対応した山づくりを研究しています。その山づくりの実現にまちづくり活動として多くの方が参加することで進めていく方法もあると考えます。自分たちの知恵で環境、観光に配慮した山づくりを行える仕組みが必要です。

家の周りの空き地を常に管理(草、木など)してほしい。捨て猫にえさをやっている人もいる。その猫が畑や庭、家の周りなどに糞をするので対策してほしい。千本桜は、春の桜祭りだけでなく、夏や秋にも何かイベントでもすると良いと思う。夏は涼しく、秋は紅葉がきれい。とても良い桜街道なのでもったいない。千本桜を常にきれいにし、自慢できるまちづくりができればと通るたびに思います。

(70歳～)

宇多院の家から見る風景がとても素敵です。この自然をなくすことなくすばらしい武芸川にしてほしい。

とっても美しい住みよい町です。日々感謝して生活しています。

マナーの悪さが、ゴミや空き缶等の投げ捨てにつながっていると思います。ゴミ拾いをしなくても問題のない町が実現できることが望ましいのですが、地域住民だけでは解決できる問題ではありませんので、①広報を通じて、ポイ捨ての禁止等のマナー教育をする。(気付いたゴミを拾う)、②河川敷などバーベキューをする場所に、ゴミ持ち帰りの看板を設ける。

私共の地域は田舎なので、わりかし平和だと思います。地域みんなで少ない子供さんを事故から守り、防犯・防災から守り、そしてボランティアで町を美しく、みんなで協力して明るく安心して暮らせる地域づくりができれば良いと考えています。

自然環境の保全について私は、田畑山林を所有する農家です。とくに私の所有する場所は山裾が多く、樹木の枝、竹、草が伸び放題です。排水等の側面はそれがひどく、水害や自然環境の面作付にも影響する所があります。何か良い策をこうじていただけると良いのではないかと思います。

1人1人が優しい武芸川町であってほしいと思います。心がけてゴミを拾ったり缶を拾ったりしています。跡部の稲荷さんより岐阜市へ向かう道路の山側が、木が茂って自転車に乗られている方が通りにくいと思います。

【公共交通】

(16歳～19歳)

バスの利用料金が、学生が毎日通学するには少し高いかなと思います。また、関方面の学校へ向かう本数をもう少し増やしていただけたらうれしいです。始業時間や終業時間との兼ね合いがなかなかうまくいかず、いつも困っています。

武芸川に電車を通したらいいと思う。

公共交通機関を増やしてください。高富から武芸川までつなぐバスがほしい。

武芸川から市街地などに行くときに自家用車がない場合、交通手段はバスしかない。バスも本数が少なく乗り継ぎをしなければならないところが多く不便である。

武義高校(美濃方面)へ行くバスをつくってほしい。

(20歳～29歳)

武芸川からマーゴ周辺まで行くようなバスがあれば、高齢者の方も映画を見たり、買い物したり、今以上に楽しく満足できると思う。

交通の便が悪いところが住みにくい。岐阜などに飲みに行きたい時にバスの本数があまりないので高富まで送迎してもらっている。バス停はすぐ近くにあるのですが、武芸川から乗ることはほとんど無い。

住みやすいまちにするためには、バスの本数を増やすことが必要です。岐阜バスが町内を通過するのは3時間に1本です。せめて、通勤や通学の時間はもう少しほしいです。私たち学生には厳しいし、足のない高齢者は身動きできません。

武芸川は、自然豊かで私は愛着を持っています。しかし、交通の便が悪く、飲み会が名古屋である時は、JR名古屋→JR岐阜→岐阜バスで1時間半かかるので、泊まりで名古屋へ行かなければいけないことが実際あります。高速バス(関→名古屋行)の手段もあるので、武芸川町から「栄町」までのバスがあると便利だと思います。

公共交通機関が限られているため不便に感じます。

岐阜バスの本数少なすぎます。

車を持っていない人はバスで移動するのに、バスの本数が少なすぎると思います。特に関シティバスには病院に行かれるお年寄りが多く乗っています。もっと公共交通が便利な地域にした方が良く感じました。

お年寄りや自家用車を持っていない人が、買い物したり、遊べる場所があれば、もっと住みやすい地域になると思う。または、乗換なしで岐阜まで行けるようになれば働く環境が増えると思う。

(30歳～39歳)

バスがほとんど通っていないから大不便です。子ども達が高校へ通う手段は自転車以外何があるの？ここまで不便では、将来人口が減っていくばかり。道も草まみれで汚い。

武芸川町は好きですし、比較的住みやすいとは思いますが交通が不便です。そのため、将来的に住み続けたいとは思いません。関市シティバス(板取線)ですが、旧関市と武芸川町以遠で料金が変わるのも一律になると良いと思います。

公共交通を便利にした方が良く思う。

(40歳～49歳)

交通手段がなくてとても不便です。

一律に武芸川地域といっても生活環境の格差が大きく、交通の便、買い物、公共施設の利用など、住んでいる場所ですぐ変わってきます。この地域では基本、車があることで生活が成立していますので、無ければ制限ばかりとなり、何歳になっても車の運転をしなければなりません。他地域への移動手段と同様に町内の移動手段の拡充を望みます。

路線バスの本数が少なく困っています。最低、朝と夕方の本数を増やして下さい。

(50歳～59歳)

住みよい地域にするためには、交通のアクセスを良くすることが挙げられると思います。高校生になると自転車で40～50分かけて登校します。雨が降るとバスを使いますが関高校行は1本しかありません。それに乗れなければ遅刻です。武義高校に行く学生は路線が廃止され、保護者が送らなければならないそうです。こういった状況を何とかしてほしいと思います。子育て支援にご理解をください。

買い物弱者に対する施策の充実(デマンドタクシー等)が必要である。都市部への交通機関の整備も必要である。

自家用車がなければ移動が難しいまちである。交通網の整備がなければ発展しないと思う。お年寄りが動きにくいのが最大の問題ではないでしょうか。

高齢者の交通手段の確保するため、地域内バスの充実が必要です。

公共交通機関の充実してほしい。特に旧関市内へのバスの運行本数と早朝から夜10時位までの時間帯の充実を期待します。

コミュニティバスは、乗っている人が少ないのにマイクロバスを運行させているのはなぜですか。税金の無駄使いです。小型のワンボックスカーで十分だと思います。

今は自家用車で行動できるが、自家用車の運転ができなくなってきた時の移動手段を考えると不安を感じる。買い物弱者となった時の不安、そして、いきいきと活動できる手段を考えてほしい。

(60歳～69歳)

今は自家用車で中濃病院へ通院していますが、運転できなくなったらどうしようかと心配しています。

バス停が徒歩15分位の所にあるため、買い物帰りなど荷物があるときに大変不便です。老後が心配です。市道、県道くらいは巡回をお願いします。

(70歳～)

高齢者は出かけるのが大変です。洞戸のデマンドバスは、寺尾地区へも定期的に午前中2回運行しています。その他は前日に予約をしておけば家まで迎えに来て、帰りは送っていただけます。洞戸診療所や生涯学習センターなどへ大変便利なので良く利用しています。武芸川地区もデマンドバスを運行すれば、高齢者が外へ出ていく回数が増えると思います。

白寿会は各地区で活動した方がみなさん参加しやすいと思います。年を重ねると移動手段は徒歩になります。たとえバスで迎えに来ていただいても、時間等にとらわれないので参加しやすいと思います。そのために各地区で活動しやすい方法を考えていただきたい思います。田舎は嫌いです。でも好きな田舎にしてください。関市自体の白寿会は意味深いものとは思えません。

【観光・イベント】

(16歳～19歳)

花馬と花火はずっと続けてほしい。バーベキューができる施設があるとうれしい。

祭りなどのイベントで、子どもから大人まで集まれるような取り組みをする。川のきれいさを保つ。

花火大会や花馬などの祭りがあることが自慢できます。

花火大会の規模を大きくする。TVなどで武芸川をアピールする。

アンケートの中にもあったが、この町の特産物をつくって販売するのもいいと思いました。最後に祭りのことで、年々祭りが縮小傾向にあるが、学生の僕たちが唯一楽しみにしてる行事がこのように縮小傾向にあると来る人も減ってしまうし、武芸川町に関心を持つこともなくなってしまうので、少しでも昔の関市と合併する前のような祭りに戻せるといいと思います。

(20歳～29歳)

夏の花火は、ぜひ続けて欲しい。年に1回は大きな行事(例えば武儀川で魚つかみ大会)を開催する。もっともっと武芸川をアピールできるようなイベントを行ってほしい。

私は生まれも育ちも武芸川で、自然に囲まれたこの環境が大好きです。中でも、4月に行われる花馬祭りは、毎年参加しています。花を奪い合うのが1つの見物かもしれませんが、最近度は越えて、喧嘩のようになってしまっているので、それはどうかと思います。ルールを守って伝統を継承していただきたいですね。

武芸川町といったら「これ」といった代表するものがないので、何か有名になるものがあると良いと思う。

「武芸川ってどんな町」と聞かれると何も思い浮かびません。何か1つに大きな目標を決めてもらえると広がっていくし、自慢できるまちになると思う。

オートキャンプ場をつくと人が集まると思う。せつかくの田舎なので、自然はそのままにしておくのがいいと思います。下手な街化はしてほしくないです。

もっともっとイベントを増やすことが良いと思う。岐阜市のように、市民運動会のような町民運動会を開催する(跡部や高野など区対抗で)とか、花馬まつりや花火大会のような多くのイベントを行うと、もっと地域が元気になると思います。10代~30代の若い力で作ることが重要だと思います。

私は地元でバレーボールのチームをつくっています。チームをつくってからは、地元から離れたくないという気持ちが強くなり、充実した時間を過ごすことができます。それが私にとって、住みやすく、魅力のある地域、絆であると思います。地元でスポーツ大会等があるといいと思います。あと、個人的には高齢者の支援等の活動を行いたいです。

(30歳~39歳)

地域の魅力を他の地域の方に知ってもらうためにイベントを開催する。ご当地グルメやつくった野菜を売ったり、ゆるキャラをつくってはどうか。武芸川には蛍がたくさんいたり、一色にはカタクリの花が咲いている所があるので、そういった自然を色んな人に知ってもらうために、看板やパンフレットをつくって宣伝したり、地元の小学生の学習として活用する。一色では、パターゴルフ大会を行ったり、バスツアーを計画したりして、住民の絆を深める活動を行っているので、武芸川町全体で行うのはどうか。

武芸川温泉、花馬祭りは自慢できることだと思います。

(40歳~49歳)

住みよい地域=すべてにおいて便利な所。その為にはもっと人口を増やす努力をすべき(山を切り崩し住宅地を増やすなど...)。人口が増えれば町は活性化され、すべてにおいて(交通、買い物等)便利になり、誰にとっても住みよい所になる。

地域の魅力は、跡部にたくさんホテルが見られる場所があります。草刈りをしてたくさんの人が見られるようにすると良い。

岐阜方面への交通手段や岐阜市との交流が大切である。伝統、文化のある地域なので、観光課がもう少しアピールした方が良くと思う。

武儀川を整備し、夏に川遊びをもっとしやすくすると、他県からも人が集まって来るのではないのでしょうか。

武芸川町の魅力を知ってもらうために、街ではできないこと(釣りや山菜とりなど)を若年者や町外の人にアピールする。

(50歳~59歳)

お盆には帰省した人たちが楽しく過ごせるよう花火があるが、盆踊り、夜店などで賑やかな場所をつくってほしい。盆踊りは、曲が流れているだけでは踊りたくても踊れないので20人くらい必ず踊ってくれる専門の人がいてくれるとその輪がだんだん大きくなると思う。お盆くらいは午後10時くらいまで盆踊り会場を開いてもらいたい。

前の武儀郡としての秋の商工祭は、毎年開催され行くのが楽しみでした。二十数年前位までは、地域の運動会もあり、小さかった子どもや自分も含め参加すると色々もらえ、武芸川の各地域が自分の地域を応援する等、楽しいと思った。今は自分も年をとり、また子ども達もそれぞれが習い事等忙しく、そういうことも難しいとは思いますが、今よりはもっと人々とのつながりがあったと思う。イベント?何か分かりませんが、武儀郡の頃、少し前に戻って楽しかったことを思い出してはどうでしょうか。

武芸川をアピールする場、物が思いあたりません。道の駅はあるが、内容的にアピールできていない気がする。

(60歳~69歳)

武芸川は温泉以外は何もない。千本桜も一時的なもの。寺尾の道を早く整備して岐阜からも寺尾の集落内も大型バスが通りやすいようにして、より多くの人に来てくれるような、1年中レクリエーションができる設備があるとよい。子供から大人まで1日中、年中遊べる設備を充実すれば、活気が出てくる。

山と川、自然を利用した体験、ものづくり、料理等のイベントを通した魅力を発信する。例えば、山へ朴葉を採りに行き、朴葉寿司をつくりお昼に食べる(葉は用意せず山に採りに行くこと)。子ども達は川で釣り、水遊び等で楽しむ。石を熱して小魚を焼いて食べる。色々組み合わせると自然を楽しみ体験する。ファミリーで楽しめます。

武芸川は、新旧関市の中で今一つ話題性に乏しい地域であろう。活性化させるには、各地域の良さを洗い出し、武芸川地域がまとまり団結し共通の話題をつくり、関市の一地域として、仲間として盛り上げていきたい。

幼少時の活動の場が少ないと思います。水辺公園の使い方を考えてほしい。今の時期、子ども達が安全に遊べる場になれば良いと思います。河川敷を大人も子どもと一緒にウォーキング等できるような場所にしていきたい。

八幡花馬まつりをPRする。自治会主体の諸行事、イベント等の実施する。

家の近くに子どもを遊ばせる公園があると良いと思います。

(70歳～)

耕作放棄地を活用する。みんなで野菜をつくる。野菜料理をつくる。多く取れたら道の駅に出す。地域の高齢者に指導してもらう。

【歴史・文化】

(16歳～19歳)

小中学生を対象に、武芸川の魅力を考える行事等を開いて、武芸川の歴史等を学び、将来大人になった時に「私の故郷はいい所だ」「こんな魅力がある」と武芸川を語れるような子どもたちを育ててみるというのではと思います。

伝統を受け継ぐと本当にみんな思っているのですか。武芸八幡宮の無形文化財の獅子舞を何年も教えてもらいながら身に付けました。でも、保存会がなくなりました。やる気のある若い人はいるのに、形だけ、声かけだけで本当に動いていくことをしてなければ、何にも受け継がれていきません。また、武芸川町の若い学生たちの中にも、素晴らしいスポーツでの成績や学業、資格など持っている人は多くいると思います。関市の街の人だけではなく、田舎の武芸川のような所の人も新聞などで取り上げてほしいです。

(60歳～69歳)

武芸川町の各地域に残る昔話(口碑里伝)を次の世代を担う人に伝えていくこと。自分たちの先祖にはこんなにも素晴らしい人がいる。また、自分たちの地域にはこんなにも素晴らしい歴史や遺跡がある。それらの事々を過去から現在、そして未来に伝えていく。そして、他の地域から転入してくる人にもそのことを伝え、知ってもらおう。温故知新という言葉の如く、みんなで各地域に埋もれている宝を見つけ出す。そこでも一つの地域の繋がりができると思う。みんなで一緒になって、ワイワイガヤガヤと有意義な時間ができる。そのところが最初の一步かな。しかし、このいい状態を常に維持していくことは大変なことと思いますが、まずは「やってみる」の精神で行うことではないですか。

歴史ある武芸八幡宮、寺尾の千本桜、武芸川温泉をPRすること。

武芸川町八幡区には、養老元年(717年)今から1300年前建立された八幡宮があります。昨年関市生涯学習センターで、委員の方が景観について発表していただいたところ、県外の方々の参加が多くあり、小さな講演が地域の発展につながり、地域の方がより努力するより良い連鎖の状況があらわれた。一部の地域だけではなく、関市が板取りから上之保まで目を配ってほしい。

(70歳～)

歴史、伝統等自慢できるものが実はいっぱい埋もれていると思います。もっと内外に知らせる活動を通して、多くの人が寄って来ていただける様な広報活動を行ってはどうか。

【公園・スポーツ】

(16歳～19歳)

サッカー場をつくり、サッカーで地域の輪を広げてほしい。少年たちが無料で使えるサッカー場がほしい。

大きな公園や遊具を設置してほしい。小学生や中学生が体育館、グラウンドをいつも使っているような気がします。大人も運動をすることで仕事のストレスの発散になったり、仲間関係や地域愛が良くなると思う。大人が時間に余裕のある休日などでも運動ができるといい。子供も運動することは大切です。だから運動ができるグラウンドをつた方がよいと思います。そして、グラウンドの整備などもちゃんとして安全で楽しく使えるようにしてほしい。

屋外のバスケットゴールを設置してほしい。

(20歳～29歳)

最近の宇多院地区(一色)は小さな子供が多いので、一色公園を母子のたまり場として利用したいのに遊具が少なすぎる。たまに行っても誰にも出会うことはない。ブランコ2個と鉄棒のみ。以前、ペンキを塗り替えましたが、できれば1～3歳でも利用できるようなジャングルジムや滑り台など安心して楽しく遊べる遊具を増やしていただけることを切に願います。このままでは、母親同士顔を合わすことなく、情報交換や交流もできず、孤立して育児をしていくことが淋しい。

私は武芸川が大好きです。スポーツ大会などを通して武芸川町民のみなさんと協力し合って楽しい町にしたいです。

支所や体育館、プールなどがありとても便利です。子どもの遊ぶ公園がないです。ボールを投げたり蹴ったりして遊ぶには広い場所が必要です。家の近くでは車に当たったり、じゃまになるものがあり思い切り遊べません。

(30歳～39歳)

高野には公園がないため、子どもを安全に遊ばせられる場所がほしい。小学校は授業中に入れたい。公園をつくってください。

武芸川町には公園が少ないと思うので、色んな年代の人たちが遊んだり、運動したりできる公園があればいいと思います。

子どもが小学生ですが、公園がほしいと思います。親としても本当にはほしいです。遊ぶ所がなく、結局、車が通らないからと道路でみんなで遊んだり、家の中で遊んだりしています。最近、分譲地に家が建てられ、子ども達が増えました。でも、遊ぶ所がありません。遊具をいろいろと設置してほしいとは言いませんが、少し遊べる広場があればと親同士で話しています。考えてもらえるとうれしいです。

川や森、自然が綺麗な武芸川ですが、もっと自然を良くし、次の世代へ残していく必要があります。今以上にイベントを増やし、観光、清掃、特産品の販売、スポーツをもっと行ってほしい。そして、子ども達が遊べるグラウンドやスポーツができる場をつくってほしい。パターゴルフ場でのイベントなど、パターゴルフ場の横のサッカーグラウンドをもう一度、子ども達がスポーツをして楽しめる場にしてほしい。

子どもが遊べる公園、施設があるとよい。買い物ができる大型スーパー等があるとよい。

公園など公共の場所の整備をしっかりやってほしいです。

わかくさ・プラザにあるようなトレーニング施設があると良い。河川敷を整備し、ウォーキング等ができるような場所があると良い。

子どもが安全に遊べる場所をもっと充実させてほしい。公園などを地域ごとに設置する。

少子化で子どもが少なくあまり見かけない。兄弟で遊んでいるので、集まって遊べる安全な場所が近くにあったらと思います。跡部地区に小さい子ども遊べる公園がほしいです。児童館は充実していてとても助かっています。

もう少し飲食店を増やしてほしい。高野地区に公園を設置してほしい。水辺公園にベンチや日陰を作してほしい。市民運動会の復活を楽しみにしています。

公園が自治会内にあると良い。公園が他地域にあるので、子供が自転車に乗って行くことが心配です。学校しか遊び場がない。

筋トレをしたいので、近くにトレーニングジムがあれば嬉しいです。若い人だけでなくお年寄りにもいいと思います。

健康増進のため、武芸川健康プールの料金を武芸川市民は安くしてほしい。400円では頻繁に通いづらい。

生涯学習センターの研修室などを有効活用するために、土日に子どもと親との交流教室のようなものを開催すると良さそう。(折り紙、工作、手芸など)夏休みは暑くて外遊びができない子どもたちが多いので、体育館を無料開放していただくと、図書館への出入りも増えると思います。

子どもたちが安心して遊べる安全な公園がほしい。

(40歳～49歳)

自宅から歩いて行ける所に公園があるといいなと思います。各務原市の市民公園や岐阜市の長良公園や岐阜公園などのような公園がほしいです。車ではなく気軽に歩いて行くことができ、通路や道路もきれいに整備されていると良いと思います。公園にウォーキングコースを設ければ、健康増進にも役立つと思います。

スポーツジム等、健康促進できる環境をつくる。生涯学習センターの体育館やプール、まったく使用されていない資料館等、有効に使用したほうが良いと思う。

生涯学習活動があるといい。健康の為、スポーツができる施設があるといい。高齢者の憩いの場を設置して見守りをして、安全な日常生活を送る支援があるといい。子どもが安全で遊べる環境のよい場所作りがあり、親子でふれあえるといい。

(50歳～59歳)

子供達が安心して遊べる場所を確保する。誰かが見守り、家の中ばかりで遊ぶ子供たちが多い。最近の事件やニュースを聞くと、外では心配で遊ばせられない。常に親がついているわけにいかない。理想としては、昔の子供たちのように、年齢に関わらず、みんな元気に遊べる場所がほしい。

道の駅むげがわ、パターゴルフ場、岐阜ファミリーパークを結ぶファミリー遊歩道を整備してほしい。

パターゴルフ場を何か工夫して、活性化したらどうでしょうか。パターゴルフだけでは、広い場所なのでもったいないです。

小さい子どもが遊べる公園があったらいいです。

(60歳～69歳)

高齢者の運動不足の解消のため、70歳以上の方にはパターゴルフ場を無料開放する。

【子育て・青少年育成】

(16歳～19歳)

若者を増やしていくために町おこしをする。子どもを育てやすい町にするためにサービスを充実させる。

家族向けのアパートをつくり、子どもを増やす。

(20歳～29歳)

博愛小学校という素晴らしい名前に見合う子供たちが育つよう住民が学校行事に参加、協力できると良いと思います。

子供が屋外で遊べる場所が少ないので、そういった場所があるといいなと思います。地域の方は、高齢者の方が多いですが、みなさん優しくしてくださるし、とても住みやすいです。家は、核家族なので、地域のおじさん、おばさんと子供をなるべくふれあえるように散歩などしていますが、何か集まってできるようなことがあればいいなと思います。(保育園児の母より)

これからを担う子どもたちのために、医療費の助成をもう少し(高校生まで)引き上げるとか、子育て支援のためのお金とか施設が充実するといいかもしれません。子どもたちに対する援助などがいいと他の所から人が来て人口も増え、お年寄りにとってもプラスになるのではないかと思います。

もっと育児中の母親や高齢者が交流できる機会などを増やしてほしい。

(30歳～39歳)

小学生など子供が参加できるイベント、講座がもう少し増えるとうれしいです。関市の中心では多く開催されていますが武芸川では少ないと思います。

博愛小学校で1/2成人式を行う中で、タイムカプセルをつくりたいと提案があったが、タイムカプセルを埋めると、掘り起こすのに大変だからと、役場、生涯学習センターやふるさと館で預かってもらえないかという案があったが難しいらしい。以前中学校でも話があったが、保管場所がむずかしいと断念した。子供達が20才になって武芸川町で育ったことを思い出す物があったりすることは、とてもいいのではないかと思います。板取や洞戸でもやっているのに武芸川でできないのは残念だと思います。ここで育ってよかった、これからも住み続けたい、将来武芸川に戻ってきたいと思えることができる1つの提案が通らないのは残念です。

子供達の生活、学習環境が住んでいる地域で格差が無いようにしてください。少人数の学校でも学童保育など必要だと思います。

子どもが遊べる場所をもっと充実させたり、働いている人が子どもを預ける場所をもっと充実させると、もっと若い人たちに喜んで住んでもらえると思います。あと個人的には、家の近くにコンビニがほしいです。

小、中学校があいさつができることは素晴らしいことです。続けていけるといいと思う。

小中学生の部活動の充実を希望します。子どもたちが文化、スポーツ活動を継続的にできる環境づくりを整えたいと考えます。

武芸川地域が今後繁栄していくために、これからの将来を担う子どもたちを地域みんなで育てていくことが大切だと思います。武芸川地域は高齢者の多い地域です。これまで高齢者には様々な手厚いサービスがあったと記憶しますが、子どもたちにはサービスが少ない気がします。もっと子育てのしやすい町、外部から子育て世帯が移り住みたいと思える町、子どもたちが大人になって帰郷したいと思える町にする必要があるのではないのでしょうか。現在武芸川地域の子どもの人数が減っているのは事実です。どこかでストップさせなければなりません。ぜひ子どもたちに対するサービス等々考えていただきたいです。消防団について少し述べさせていただくと、現在消防団員のほとんどが仕事をされていて、貴重な時間を訓練等に費やしていただいています。しかし、この地域が災害の時、本当にこれらの方が迅速に活動できるのでしょうか。迅速かつ日頃の細かな防災対策ができるのは、いわゆる「働き盛り」の男性ではなく、定年したがまだ高齢者と言えない元気な方々や主婦の方々ではないのでしょうか。消防団の入団規定の見直しと活動内容(特に操法大会)の見直しを行い、いざという時に本当に活動できる消防団を組織すべきだと思います。

未就園児の交流の場をたくさんつくってほしいです。同じ関市でも、他の地域では保育園で未就園児の行事があるみたいです。

子どもの多い活気のある町にするために、子育て支援等を見直してほしい。税金ばかり上がって生活は苦しくなるばかりです。

保育料を安くしてください。

少ない子どもたちのために支援をしていただきたい。遊び場の増設、公園等の整備、図書館の充実です。

武芸川地域は、岐阜市、美濃市、山口市など移動に車があれば近いので住みやすいですが、子どもの遊ぶ公園などが少ないと思います。各地域までとは言いませんが、公園を増やしてほしいです。八幡神社の花馬祭りなどPRできることがあるので、PR活動をするとうまいと思います。

(40歳～49歳)

親の負担が重い等の理由から、スポーツ少年団の団員数が年々減少しています。指導者の育成、楽しい雰囲気づくりなど抜本的な改革が必要な時期にきていると思います。道路等に時々ポイ捨てが見られますが、熱心にゴミ拾いをされている方がいらっしゃいます。例えば、武芸川中の野球部員は、冬季にボランティア活動を行っています。こういった方たちに何らかの支援はできないのでしょうか。また、こういった活動が、もっと大きなものになっていくと素晴らしい町になっていくと思います。

予算の問題もあると思うが、子育てのしやすい仕組みを実現することができ、モデルになれば地域外から移ってくる可能性を高めることにつながるのではないかと。人口を増やすことができれば、予算拡大につながり様々な取り組みや活動へ目を向けることもできると思う。

子育てをしている家庭にとって住みよい地域にするためには、無税や減税をしていただくことです。中学生までは、医療費が無料ですが、16からは有償でほとんどの子は高校へ進学するわけですが、学費と医療費がかかるのは大変な負担です。本当に住みよい地域をめざすのであれば子育て世代とお年寄りに金銭的負担の軽減をいち早くやるべきです。

スポーツ少年団の施設利用料を無料にしてほしいです。

子どもの学校行事が土日にある時、振替休日が月曜日になります。学校が休みで仕事等でいない時、子ども達で約束して読書や学習する時、生涯学習センターの図書館を利用したいのですが、月曜休みのため行くことができません。町内で子ども達だけで利用できる所が他にないので、小中学校の振り替え休日の日だけでも、月曜休館日を変えてほしいです。生涯学習センターの公園に遊具をつくってください。建物の壁にたくさんついているマイマイガの卵が気になっていましたが、先日一度駆除してありました。これからもお願いします。

子育てのしやすいまちづくりをして子どもの数を増やしてほしい。

子育てしやすい町にするために、休日等子どもが安心して待機できる場所がほしい。福祉医療費の受給を中学校卒業までに延ばしてほしいです。また、自治会や子どもの活動の負担が多いです。昔ながらのならわし等が多いです。みんながもっと気軽に引き受けられるようにしてほしいです。

子どもが小さいときは、自然いっぱい子育てにはとても良い環境です。でも、子供が学校へ行く交通がとても不便で大変です。今、武芸川町のスポーツ少年団がとてもさみしい現状です。人数がどの部も少なく指導者もなかなか確保できず、大変なので武芸川町でもっと子供たちがスポーツ少年団に入ってもらえるようにするとうまいと思います。いま、スポーツ少年団に入団する子どもが少なすぎです。このままでは武芸川町のスポーツ少年団がなくなりそうです。何とかしていただきたいです。

自然が多く、子育てするには良い環境だと思う。しかし、子どもが高校生にもなると、通うのに不便な場所でもある。バスも出てはいるが、武義高へ通うには中濃庁舎までしかなかったり、関高へ通うにもバスだとギリギリにしか着かなかったりするそうです。誰にとっても住みよくするには難しい点も多いと思いますが、行政に期待するしかありません。武芸川町時代に、町のバスを学校も校外学習等で利用できていました。関市に合併してからはなくなったようですが、要望があれば利用できるようにすると良いと思います。

(50歳～59歳)

子どもの支援に力を入れてほしい。例えば、共働きのためカギっ子にならざるをえない場合の子どもの居場所の確保がいま一つしっかりしていない。登校の場合はみんなそろって行くことができるが、下校の場合は一人で帰ったりする子どもがたくさんいるので、もう少し子どもを守ることに力を入れてほしい。

子育て支援、少子化対策、子供を育て住みやすい町にしてほしい。公民館などでの読み聞かせなどのイベントを平日だけではなくお父さんも一緒に参加でき、夫婦で子育てができるように土日にも開催してみてもどうか。

(60歳～69歳)

平から小学校まで3、4kmあり、時間がかかるため親にとって通学は心配でならないと思います。子供達も少なくなり一人で通学することもあります。町のバスを通学に利用することはできないでしょうか。昔は子供も多く、3、4km学校に通うことも何も思わず体力的にもよかったと思います。今は子どもも少なく、親としては心配です。何とか利用できないでしょうか。

子どもが街の子どもより性格が穏やかで丸い。高齢者が仲良く生きていける場所である。

子育てがしやすい町、若者が住みやすい町にして、人口を1人でも多くすることも大切だと思います。

この地域で安心して出産できるようにし、少子化、人口減少対策を行ってほしい。

【高齢者】

(16歳～19歳)

お年寄りのたまり場と乳幼児のたまり場等を一緒にしたら、幅広い絆が深まるのではないかとと思う。

武芸川地域の全員が協力し合って生活していく。そして、高齢者に住みやすい環境をつくるのが大切だと思います。谷口の方にも買い物できるお店をつかってほしいです。

(30歳～39歳)

高齢者の見守りは、武芸川地域はとてみなさん協力的で助かっています。どこかで見かけたとか、訪ねてきたから一緒に散歩してくれたとか、最近はこの道を歩いているとか、調子はどうかなど、とても気にかけてもらえるので助かります。1人でつきっきりで見守るのはとても大変で難しいと思うこともありますが、みなさんに声をかけてもらうことで助けていただいています。この地域ならではの、とてもいい習慣だと思います。

(40歳～49歳)

土地や空き地が多いので老人施設などを作って就労者を増やしたらよいと思う。

(50歳～59歳)

現在の70代、80代の方達は、とても元気で体もしっかり動かされておりますので、次のような活動を賃金を払ってしていただいたらよいのではないのでしょうか。公民館の清掃、草引き作業、ゴミ拾い、子供達の学校の見守りなどです。いろいろな人と触れ合うことで元気になり、収入も増え、楽しい毎日が過ごせると思います。

今後、高齢者が増えるなか、気軽に入っておしゃべりできるようなカフェ等の施設があればと思います。

(60歳～69歳)

へき地であっても介護サービス(巡回、支援、訪問介護等)が支障なく受けられる。自家用車で行けない場合、自宅から目的地、目的地から自宅まで呼べば利用できる公的タクシーが利用できる。健康な時にボランティアに参加した分、健康を害した時や自分ができない時に援助が受けられる。車の送迎、病院の付き添い、買い物付き添い、買い物代行等と、ボランティアに対する意欲が高まる。

高齢者のボランティア能力の活用を促進する。

高齢社会に向けての行政がどれだけ支援できるかが今後大きな課題になると思っている。

定年を迎えた人々を組織化してまちづくりの活動体ができないか。みなさん何か声かけを待っているような様子見の姿が目につく。

(70歳～)

武芸川町は、他の町に比べて高齢者に優しい町だと思います。これからも高齢者に支援をお願いします。

60歳以上または70歳以上の高齢者向けのスポーツ大会を開催したり、レクリエーションの場を多くつくと良い。自治会ごとが良いと思う。

寿和苑のような施設に入所するのに大変だと言うことを聞きます。2人暮らしなので心配です。

現役で働いている時は苦にならなかったことが、高齢と共に不安を感じるようになりました。来年は退職したいと考えております。これからは自分のため、家族のために少しでも援助できたら良いかなと決心しました。家族に見守られ幸せな毎日です。今後も継続、最後までこの地域で住まわせていただきたいと念じております。

高齢世帯や独居の方が増加してきたように思われます。今までの住民活動も見直す必要があるのではないかと。

部落によっては今後10年で家が減ると思っています。空き家対策を練るべき。1つの例として、大きな空き家がある部落では老人や子どもたちの集まる場所として利用する方法をとるとかどうでしょうか。

【防災・消防】

(20歳～29歳)

東日本大震災のボランティアに何回も通った経験を活かし、関市でもいざという時にボランティア活動ができるように研修会などしてみてもどうでしょうか。

消防団は、怪我をしているにもかかわらず、企業よりも優先させられる。操法の練習が多く、大会にも疑問を感じます。

(30歳～39歳)

消防団に入団しているのですが、自治体での活動を少しは軽減(免除)してもらわないと負担が大きいです。

消防団に入団する人が少ないため、現消防団員の負担が大きい。10年以上退団できない人がいます。現消防団員は、時間に余裕があるから入団しているわけではありません。地域の人々のために頑張っているのです。入団していない若い男性もその家族の方も地域の方も、防災を自分のことと考え、消防団への入団を地域みんなで呼びかけていただきたいです。

(50歳～59歳)

消防団活動は強制的な雰囲気にならない。参加者が少ないときはボランティアにする。

消防団の操法練習や大会は必要なのか疑問に思います。現場の状況は違いますが、火事の現場などで団員が慌てずに確実に消すことを教えてもらった方がいいと思います。それに来年の操法大会のために今から練習している一部の分団があるそうですが、それによって分団の中がぎくしゃくしたり、あまり人が集まらないということも聞きました。操法大会に同じ人が2年も3年も出続けている現状もあります。これではおかしいと思います。今の状況で消防団を募集しても入らないと思います。1部の分団だけだとは思いますが、みんなが自由に意見を言えて、先輩からの押し付けではなく、大変だけど楽しいと一人一人が思えるような消防団にしてほしいです。

消防団への加入が少なくなっているようです。いざ災害があったときなど自分の命は自分で守っていかなければなりません。昔のようにある年齢になったら消防団に入るという意識がなくなっているように思う。仕事をしながら活動することは大変かもしれませんが、加入してもらおうよう自治会、消防団、地域の人みんなで声をかけていくことが住みよい武芸川町になるのではと思う。

跡部公民館の建替助成の拡大を希望します。跡部公民館は、跡部地区全体の施設であり、東南海地震等大災害時に重要な役割を担います。備品等もより充実する必要があると思います。

(60歳～69歳)

大規模災害の備え、危機感、啓発活動を充実することが必要である。

近年、異常気象が叫ばれている中、川の増水で堤防が大丈夫か心配です。

最近あちらこちらで空き家が増えているのですが、防犯とか台風に対して安全を考えた時に不安です。

【防犯】

(16歳～19歳)

外灯が少なすぎて学校帰りに怖いのもっと増やしてください。変なことにお金を使わず、本当に武芸川町のことを考えてください。

熊や猪が出る山があるが、人に危害が加わらないよう対策を考えてほしい。

外灯が少なく夜が怖いので、もう少し増やしてほしい。自転車に乗る時に白線の中を走ろうとするけれど、草が邪魔になって白線の外に出てしまい、走行車の邪魔になったりして危険なので、定期的に草刈りを行ってほしい。

(20歳～29歳)

安心して暮らすために、防犯灯を多く設置する。

今、平に住んでいるのですが、小学校が遠いのでスクールバスがあればいいと思います。夏は19時くらいまで明るいのですが、冬はすぐに暗くなるのでとても心配です。外灯も少なく、子どもの数も少ないので、真っ暗の中一人で帰らせるのがとても心配です。ぜひ、スクールバスを見当していただけるとうれしいです。

(30歳～39歳)

外灯が少ないと感じている。もっと明るいまちにした方がいいと思う。

特産品の開発、現在ある温泉施設や特産品をさらにアピールする。老人世帯が増加しているので防犯対策に地域ぐるみで取り組んでいく。

(40歳～49歳)

外灯が消えていてもすぐに直らないので、すぐに直す体制づくり。

子供達の通学路になっている道に外灯が少なく、特に冬期は、暗くなるのが早いので子供達が帰る時間帯が暗くてかわいそうです。防犯のためにも、もう少し道を明るく照らしてほしいです。外灯が増やせないなら、電球をLEDに変えていただけるといいと思います。最近、子供の連れ去り事件が多いので心配です。

外国の方もたくさん住んでみえますが、やはり日本人と違い怖いイメージがあります。防犯のために、外灯などたくさん設置してほしい。

夜になると真っ暗になるので、もっとたくさん外灯を設置してほしい。整備されたウォーキングロードをつくってほしい。住宅の周辺での野焼きはやめるべき。布団や洗濯物に臭いが移り困っている。

地域全体に外灯を増やしてほしい。

外灯がなかったり、あっても暗くて意味がない(小知野バイパス)。子どもが小学生の頃から要望書に書き続けたが未だに改善なし。言っても無駄なんじゃないかとしみじみ思います。

森本地内の道を直してほしい。外灯をつけてほしい。森本地区は外灯が少ない。

(50歳～59歳)

最近是不審者が多く、女の子だけではなく男の子の親も心配です。夏はいいのですが、早く暗くなる時は、特に心配なので、たくさん外灯があるといいと思います。また、活動に強制的なのがありますが、家庭によってはどうしても出られない時もあると思います。出不足金がある時もあり、金銭面で大変な時があります。

深夜の迷惑花火、爆竹、ドリフト走行なども同様です。広報せきで周知、防犯パトロール強化、子ども達が安全に暮らせるよう大人が目で見守って、危険な行為や犯罪、非行をさせないよう「綺麗なまちづくり」をすれば、引き寄せないようにできると思います。私たちも目を光らせて悲しい事件のないよう願います。

防犯に関しては、地域の方の目があり子どもたちは、まあ見守っていただいているかと思い安心してあります。あとは、家ではもちろんなのですが、挨拶のできる子、そしてなるべく高齢者の方や障がい者の方と関わりを持つ時間をつくって人にやさしくできる気持ち(心)を育ててもらいたいと思います。

(60歳～69歳)

防犯に一番関心があります。健康に気をつけたいです。今は家族7人が元気で暮らしていますが、日々、自分に与えられ、できることをやろうと心がけています。みんなが笑顔だったら、武芸川もますます住みよい地域になると思います。

小学校、中学校の通学路への車両の時間帯通行規制をしてほしい。暗い所に外灯を新設してほしい。各自治会で調査して夜間危険と思われる所に設置を要望する。

(70歳～)

最近よく思うことですが、おまわりさんが自転車でふらり家庭を訪問する姿を見かけなくなりました。私たち年寄りは見かけるとホッとしますが、今の時代では叶わないのでしょうか。心配事とか悩みとか話せるといいなと思うのです。

【交通安全】

(16歳～19歳)

住みよい地域にするには、まず環境の整備が大切だと思います。私が通学する際に通る道路の草や木が生えたままで、道路に飛び出した状態になっています。車も通って危ないところなので、草刈りをしてほしいです。地域の活動も少しずつ増やしてほしいです。

車が来ているのに道に広がって自転車で下校している中学生と車が通ってはいけないという時間にその道を車で通るのはやめてほしい。小さい道だからといってカチカチしない車は交通ルールが守れていないと思う。

(30歳～39歳)

交通安全で、日時を決めて立っていますが、子どもが少ないため意味がないように思われます。立つ場所を考える必要がある。生活に流されて、行事、イベントなど参加する時間がない。休日には畑仕事、親戚などの付き合いであったり、体の調子が悪かったりなどいろいろあります。

子供が通学するための道路環境を整えてほしい。車のスピードが出てる所でも歩道がない。例えば、武芸川温泉から西へ行くバイパス道です。車がけっこう走るのに、学生が安心して通れる歩道がなく危ない。学生の通行量もけっこうあります。

(40歳～49歳)

418号線に車で出る時、左右にある木は緑が多くとてもいいのですが、葉っぱが伸びて車が見にくい時期があります。道路に出るところの左右2、3本はなくしてほしいです。中学の子供も、自転車で横断するときに見にくいと言っています。事故が起きる前になくしてください。

走っていると危険なので、道沿いの草刈りを定期的に行ってほしい。暗くて危ないので道路沿いに一定の距離に外灯をつけてほしい。ポコポコして車で走りにくいので道路の整備を行ってほしい。

道路脇の草刈りの時期が遅く、センターライン寄りに走行せざるを得ない。早期に対策願います。

より住みよい地域にするために今回のアンケート内容とは離れますが、歩行者の安全を守るために冬季大雪の際の道路の除雪作業を強化できたらいいと思います。

(50歳～59歳)

堤防と側道に草が伸び歩きにくく、道が狭くなり、車との擦れ違い時に危険なので定期的にパトロールし草刈りをしてください。跡部のパターゴルフ場の東の川にホテルが6月中いっぱい出ます。雑草が多くて、近くで見ることができないので草刈りをして、もっとみんなに知らせてあげるとよい。

桶森中の交差点ですが、以前は片側に「止まれ」の表示がありましたが無いです。地元の者は気をつけて減速して通りますが、それ以外の方は、そのままのスピードで通られるので何度もヒヤッとすることがあります。以前、事故が発生したこともありますので、また事故が起こらないか心配です。

新桜橋の宇多院側交差点が落ちたら危険なのでガードレールを設置してほしい。JAめぐみのサポートセンター東側の岩山の岩が落ちそうで危険である。

危険な交差点に信号機が設置されていない箇所がいくつもある。大きな事故が起きてからでは遅い。早々の整備が必要と思われる。

(60歳～69歳)

武芸川町八幡から高野にかけてのフラワーロード(草ロード)の歩道に細かい低木が植えられています。歩道の半分以上を占めて高校生が通学するのにとても大変そうです。特に雨が降った時などは危ないです。また、草丈も伸びて交通の妨げになっています。

【ボランティア・まちづくり全般】

(16歳～19歳)

公共施設の使用用途を多様化する。それに伴ってマナーを守らせる。小さなジムが欲しいです。道沿いの雑草の除去、ゴミ拾いを地域で行う。高齢者、子どもの川遊びを地域で見守る。野焼きは通学、帰宅時間以外に行うようにしてほしい。

交通手段が少ないことや、店が少ないため、生活に少し不自由さを感じる。しかし、自然豊かな環境はこれからも守っていくべきだと思う。おいしい水や食材がたくさんあるのだから、もっと広く知ってもらいたいと思う。少し遠いけど足を運んでみようかな、と思ってもらえるような町になるといいと思った。

(20歳～29歳)

武芸川は昔から住んでいるので、現在も住んでいるという感じです。仕事の休みも少なく、自宅には寝るだけのために帰っています。幸い、関広見IC、関ICが比較的近いので助かりますが、この田舎地域にとっては高速料金のアップは大ダメージです。いつも関広見から美濃加茂へ行くのですが、それだけで600円です。高すぎです。以前は半額の300円でした。最近是一般道が混んでいます。確かに武芸川はどこへ行くにも中間地、車での移動は楽です。でも、「この地区で何かを」という感じではないです。言い出したらキリがないですが、なかなか地域のみなさんとも話す機会が少ないので、交流が持てるような時間、イベントがあれば良いと思います。スポーツ施設等の整備でも良いと思います。ぜひ、このアンケートを活用するためにすぐに行動に移していきましょう！僕はほとんどこのまちにいないのですが、少なからず、今後の武芸川町に期待しています。

女性会では毎月公民館の草引きをしています。

(30歳～39歳)

寺尾の千本桜はきれいなので、もっとアピールした方が良いと思います。例えば、寺尾につながる道沿いにも桜を植えて、桜並木で有名なまちにする。高齢者も増えていくと思うので、住民同士の声かけなどが必要になると思う。また、健康づくりの体操や運動などの講座があれば良いと思います。高齢者の集いなどもたくさん開催されると良いと思います。

公共交通(バスの本数)を増やす。衣料品店や大型ショッピングモールなどを誘致する。川をきれいにして、キャンプやバーベキューなどできるように整備する。防犯灯を設置してまちを明るくする。水辺公園などをもっと楽しい公園にする。自然がたくさんで安全なまちだと思う。町民運動会、農業祭などみんなが集まれるイベントを行うと良いと思う。

寺尾に住んでいます。何でもそうですが行動が遅すぎる。除雪、道路工事(寺尾坂)など、寺尾を軽く見ているように思える。桜の時だけではなく、トータル的に寺尾のことを考えてほしい。今度行われる自転車のイベントは道路を広くしてからやるべきであり、狭い道幅を考えればやるべきではない。交通量が少ないから安全だと言われたら、むしろ危険度は増しています。寺尾以外の地区は大体整備が進んでいるが、寺尾は最後にまわされてばかりなので、寺尾の事業を優先的に進めていただきたい。

まちづくり活動や消防団の個人負担を軽くすることを考えてほしい。同時に、個人の負担がみな平等になる仕組みを考えてほしい。

(40歳～49歳)

公共交通機関の充実を図る。他地域からの移住を進め、高齢化を抑制するとともに、税の優遇措置により若年世代、若い夫婦が暮らしやすい環境整備に努める。税の優遇措置により、企業を誘致し、活性化を図る。耕作放棄地等を借上げ、農業や野菜づくりに興味のある人に貸付ける。武芸川流域の環境整備を図り、キャンプ場等を造成する。

若者が住みたい、住みやすいまちづくり(企業誘致)。高齢者が安心、安全なまちづくり。人口が増えるよう子供支援(教育、手当、病院等)。武芸川のクリーン作戦と魚や生物を多くする。小学校の統合(3校→1校にし、武芸川中学校の近くに新設する)。武芸川温泉、パターゴルフ、道の駅等の観光客増員。宣伝、広告、インターネットを充実し、市外からお金を落とさせる。住民参加のイベントを毎月1回以上行う。若者が参加しやすい老人との交流イベント(卓球、パターゴルフのトーナメント大会、夏はバーベキューなど)開催してはどうか。

武芸川は四季がはっきりしているし、蛍がいたり、自然がたくさんあって素晴らしい所だと思っています。道ですれ違ふ小学生が元気に挨拶してくれる所も自慢できます。人が温かくて大好きです。ただ、公共交通機関がなく不便でとても困っています。車が無いとどこにも行けません。今はまだ良くても、長くここに住んで高齢者になった時に、今と同じように車を運転できないはず。できるだけ人の手を煩わせずに、できることは自分でする高齢者でいたいので、公共交通機関がほしいです。子どもの視点で考えても、親の送迎がなくても、岐阜駅や名古屋駅まで便利に行けることは大切だと思います。名古屋辺りまで不便なく通勤、通学できたら、住む人も増えるはず。バスでも何でもいいので、本当にお願います。他には、道に街灯を増やしてほしいです。ウォーキングをしたくても、夕方以降は歩ける所がありません。女性が1人で歩いている姿を時々見かけることもあり、暗いので心配に思います。野焼きも禁止していただきたいです。天気が良くても風が気持ち良くても、近所で野焼きをしていると窓も開けられません。干した洗濯物や布団にも煙の臭いがつき、洗い直さなくてははいけません。昔からの風習だと思うのですが、少しずつ減らしてほしいです。

(50歳～59歳)

谷口水辺公園を(西側と東側の堤防)オートキャンプ場にしてはいかがですか。歴史資料館と温泉、事務所西側の通りとの間の空いた土地もあります。それを整地し、何かの施設、または町民憩いの森のような物をつくってはどうか。国道418号沿いにある美谷学園のパン屋さん「ライブラリーM」から東側(前に美濃古地鶏の養鶏場のあった場所)に、大型車、中型車の自動車が停めて休める駐車場を作ってはどうか。武芸川町、洞戸、板取の空き家を上手く利用して、他県や都会からの移住やスローライフを希望される方を受け入れる。空いている田、畑を活用する。

若者の働く場所の創設(企業誘致)する。ただし、本社機能を含めて、ホワイトカラーが必要とされる企業(高学歴化に対応)が良い。男女の出会いの場の創設(未婚者の支援)する。子育て支援のため保育所の充実や帰宅するまで児童を預かる施設をつくる。

武芸川に嫁いできましたが、将来、親を連れてきたいと思います。親にも喜んでもらえると思います。

もっと働ける場をつくる。

(60歳～69歳)

武芸川町に住んで40年以上になりますが、現在の住みこちに満足しています。適度な環境に恵まれながらの毎日の暮らしは、未来に希望を感じさせてくれています。そんな現在の状況について未来を思うとき10年後、20年後の自分の姿に思いをはせたときに興味を覚えるところです。その時代でどんな希望をもちながら残されている人生を生き続けているのであろうかとの思いをはせるところです。死の時を迎えるまで元気でありたいと思って願うところです。

今現在の親の姿を眺めていると、ふと未来の自分の姿を思ったりしています。適度な環境が適度な生活を過ごし続けていくことができるのだと思っています。武芸川町はそのような生活がしやすい環境であるところだと思っています。「子は宝」と申します。武芸川町をどこよりも子育てしやすい地域にすれば、おのずと活気のある地域になります。未来を担う子宝をより多く生み出すことです。みんなで知恵を出しましょう。

武芸川町と板取の温泉施設をリハビリ治療も出来るように設備やスタッフを整える。また、板取温泉までの交通の利便を図るために新しい道路を建設するとか、板取の自然と温泉をその道路に結び付けて道路開発するとか、公共投資と観光、福祉に予算を充てることが重要です。

情報を発信する側と受け取る側の温度差があると思います。なかなか情報が伝わってこない様に思われるので、何でも伝えられる様にしてください。武芸川町は自然に恵まれ、医療、買い物の便も良く、素晴らしい所だと思います。公共の物、場所を大切に作る心、人を思いやる心がもっと増えることを願っています。弱者に対する思いやりを大切にしていける様に、また触れ合うことができたら良いと思います。ボランティア活動は、小さいうちから身に付けると良いと思います。でも、一部の方に負担がかからない様に楽しくやっていたら良いと思います。

働く会社や工場が少ない。岐阜市、名古屋市までの通勤時間が長く、地元で働く場があれば永住につながる。美濃インター、関広見インターとアクセスも良いので、もっと地元で企業を呼び込んで活性化を望む。

私は、武芸川町が住みにくい町だとは思っていません。ただ、活性化が足りない町であると思っています。武芸川町は町外の人にとっては、これと言って特徴がなく、町内の人にとっては、生活の糧を得る場が旧関市や岐阜市にあることが多く、地域意識を強く持つことができにくい地域であるように思います。こんな状況下で住民が絆を深めるためには、町内で何でも良いから楽しい催し物をじゃんじゃん実施することだと思います。そうすれば、町外からの来客も増えてにぎやかな楽しい町になるのではないのでしょうか。

住民数、若い人達の数安定していないと、町そのものが衰退してしまうので、将来を見据えた対策が必要なのではないか。武芸川町は、岐阜、各務原、関、美濃加茂など通勤に便利な点をアピールして、若い夫婦が住めるように住宅、子育て等の思い切った補助を行い、そして人口が増えるような施設を考えなければならぬと思います。ただし、関市になってしまったのでどこまでできるのか、不安は残ります。

仕事をしていますので色々参加できません。

(70歳～)

まちづくり活動に多くの人参加することは大切なことだと思います。例えば、ボランティア活動を小、中、高校生から高齢者まで参加する義務は理解できるが、なかなか足が運ばない。年齢相応で可能なことをできたら「ボランティア活動貯金(小冊子にシールを貼っていく)」をする。自分の足跡ができ、さらに参加しようと意欲的にボランティアに参加できるのではないのでしょうか。

【市役所・合併・まちづくりアンケート】

(20歳～29歳)

私は岐阜市に勤めています。職員の中で税金の話をするがありますが、関市の住民税が他の市に比べ高く感じます。税金が高い分、他町村に比べて住みやすいと感じられれば納得できるのですが、あまり実感できません。実感できる政策を進めていただきたいです。

(30歳～39歳)

今までもアンケートに参加したけど何も変わっていないので記入はしません。こんな無駄なことはやめて下さい。お金の無駄に過ぎません。

自分たちのことしか考えていないから、合併は間違いだ。市民のことなんてどうでもいいと思っている関市長、いつまでも高見の見物はやめてください。本当に苦労しているのは一般市民だっていうのが分かりますか。

役場(事務所)の雰囲気をもっともっと明るくしてほしい。個人的な意見ですが、夜間などの対応の暗さから考えると、こんな素晴らしいアンケートを取ってもらっても、本当に真剣に考えてくれるのかなどと思っています。

まず町の良い所を皆様に理解していただくところが一番です。このアンケートで本当に改善されるのでしょうか。住民の絆を深めるのは無理だと思います。特に若い子は関心がないと思う。なのに若い子にアンケートとることが考えられない。

武芸川町と旧関市の仲は、関市になってから今までどうですか。武芸川町民はその本音がすごく気になります。

地域を良くしていくため今回のアンケートを生かしていただきたいです。

まず、武芸川町という町が、どれだけ良い町なのかを知ることが一番です。知らないのに、色々な活動に参加はできないと思う。そのためのアンケートだと思いますが、このアンケートがしっかりと今後の改善になるようにしてほしいです。絆を深めるためには一人一人の意識が問題であり、今は無理かと思う。特に若いものは、関心がないと思われます。

(40歳～49歳)

時々武芸川事務所に行くのですが、仕事をする人の人数がかなり少なく室内も暗く、以前の役場の雰囲気が全くなくなってしまうようでとても淋しいです。町内で暮らす私たちは合併する前も後も同じように働き生活していますが、以前の活気があったところが廃されていくのを見るのは心が痛いです。国道418号線を車で走っているだけでは外から来た人に町のいいところ、おすすめポイントが判りづらいです。地元の人たちが外から来た人に自信をもって薦められるものがあると、人に来てもらえる。また来なくなるそんな連鎖が起きるといいなと思います。

このアンケートについて2点意見します。回収用の封筒を無記名のものにしてください。問16、18、20、21、25、27などは記述式にすべきです。選択肢として挙げられている事項は、現段階で行政が確実に何らかの手を打っている内容です。この選択肢の中で優先順位をつけるためのアンケートはそもそも無意味です。

年に何度も行くことはありませんが、たまに武芸川事務所に行くと暗さを感じます。照明の暗さは節電もあると思いますが、空気というか活気の無さ。武儀郡武芸川町から関市武芸川町になったとき、何か旧武芸川町の良い所が無くなってしまった気がした。関市は関市だけれど、武芸川町独自のサービスが充実するとうれしい。他地域に自慢できるようなこと、転入してくる方が増えるようなこと。女性会の活動を無くしてほしい。この封筒の再利用方法はとても良いと思います。他の企業も取り入れれば良いと思います。

関市へ合併以降、武芸川地域のサービスが低下していると感じる。国道や地域の道路の草刈りなど以前に比べ実施されていない。地域の自治会などで実施するにしても草刈機、燃料、草刈刃など個人負担でやっています。国道、主要道など本来行政側で実施するところなど地域自治会で行うことへの助成は増やせないかと思う。医療費など抑えるために健康づくり活動は大切だと思います。小学生、中学生と敬老会などの交流事業や一緒にできる簡単なボランティアなど子供達を巻き込んだ活動だと大人も参加しやすいと思います。

(50歳～59歳)

現在の関市武芸川町より、武儀郡武芸川町の時の方が町としての活動、町民とのつながりが強かったと感じられる。町おこしにも力が入っていたように思われる。公共の場の美化等もなされていたように思う。過去を振り返るわけではないが、忘れてはいけない根本的なものがあるのではないかと。武芸川事務所は何のためにあるのか。住民とのつながり、町を住みよくするためには武芸川事務所ももっと活気に満ちた事務所にするべきではないでしょうか。美しい武芸川町も大切です。道路整備、街路樹、外灯等、明るく美しい町は住みよい町、住む人も明るくなるのではないのでしょうか。

冬季に積雪があった場合の対応が、関市との合併後、非常に悪くなり、主要道路しか除雪してもらえず、通学路等の対応ができていないのが残念である。あきらかに旧関市を重視しているように思える。もう少し武芸川地区の予算を増やしてほしい。道路の補修をしてもらいたい。

合併後、元気がないという感じです。もっと活気があるようになると良い。難しいけれども、何をどうしたら良いか大変難しいですね。

市町村合併のメリットが少ない。中学校の建て替えを早く計画してほしい。色々な計画があれば、それを知るようにしてほしい。

このアンケートを行って何かが変わるとは思えません。もっと住民の声が聞ける方法を考えたらどうですか。

50年後には少子化が最高となり、高齢化がピークになり、自治体が維持できない状態が予測されていることをみんなが理解していない状況が不安です。産業もない現状では人を集める政治を望みます。

武芸川まちづくり委員会とは何ですか。運営の状況はどうなっているのですか。会はボランティアなのですか。私たちに伝わってこないような気がします。

(60歳～69歳)

よくアンケートが来ます。書きたくない。

武芸川町時代と比較すると、地元の職員が少ないので、役所への意見が言いづらい。

まちづくり活動は、今までもいろいろと行われていると思います。このアンケートに取り上げられている項目は、すべて今までもこれからも町民でそれぞれ協力して行っていかなければいけないと思っています。この村(町)で生まれて今は市になりました。ずっと育ってきた所です。少しでもみんなが住みやすい町になるよう、これからもできることを協力していきたいと思っています。

春のある日、図書館で本の予約をしようとして、予約用紙を見ると裏が広告でした。「何これ」と聞くと、「予算がないのでコピー用紙を買ってもらえないんです。」との返事がありました。ビックリです。黄色でした。ところが最近聞いた噂によると、事務所の人には何か欲しいものがあれ何でも買ってやると言ってみるとか、本当かどうかは分かりませんがこれって変ではないですか。

武芸川温泉の割引サービスをしてください。町民に割引サービスがあればもっと行くと思います。アンケートを取ってどのようなことをしているのか、どう改善、開発したのか公表してください。

今の行政は、私も含めて高齢者に優遇し過ぎではないですか。もっと将来のある子供達に行政は目を向けるべきです。今の行政は何か勘違いしています。市長も良く考えるよう、こういう意見を届けてください。と言っても届かないでしょう。

関市行政の考え方と地域住民の考えにギャップがある。もっと武芸川事務所を利用しやすい、何でも相談できる場所にしてほしい。まちづくり委員会と武芸川事務所の連携を充実させる。

協力的でない回答でどうもすみません。今、仕事と私の母親、主人の母親の介護のことで頭の中が一杯です。

目的が分からない。くだらない質問が多い。こんなアンケートはやめた方がいい。

私は関市内から武芸川地区へ変わり、まちづくり委員会は努力されていると思いますが、何かと各団体の方達が自分達のことだけに協力するよう町内に求め言うことは、良いことを言っておられますが、自分達のために各協会があるような感じがいたします。社会福祉協議会は、大事なことなので協力は惜しみませんが、おかしいことが多々あります。各自治会に協力金を集金させること、各個人が協力することで、自治会で集金するものではないと思います。役員の選出方法(支部長、学識経験者)とありますが、旧町議だった方などが理事になるなど支部長の仲良しクラブになっています。前年に小学生から金を集めたこと。他の小学校も協力しろと思われるようなことがあり、町民が協力したお金、小学生が協力したお金もあるのに役員さんたちは、そのお金を使ってバスでどこかへいくのはおかしい。除雪機のこと、町民、区民はなぜあんな物があるのか疑問に思っています。関市の会社が社協に対して力があり、やむなく買ったことだと思われま。関市全体で何台買ったのか。こんな物のためにお金を集めたのかなと思います。社協にも責任がありますが、自治会の方の責任もあります。自治会の集金なら収支報告も必要です。老人クラブに個人情報違反があります。

(70歳～)

関市に合併してから行政の支援が置き去りになっている。持参金を持って参加したのにこのような成り行きは合点できない。町民のため合併して良かったと思えることがあれば良い。

アンケートに関しては、自分が健康であるという条件付きで回答しました。活動したいと思っても体に相談しながらになり希望にすぎないのではと思い、どこまでできるか自信がありません。

地域の人口減少をどう歯止めするか、地域で話し合うことはないのか。遅すぎるとは思いますが、合併時に問題となった1つでもあり考えるべき。

定年した方、主婦、女性の力を地域づくりに生かすことが重要です。まちづくり委員会の取り組みに期待します。

病気で何も参加できません。よろしく願いいたします。

将来人口推計

1 推計方法について

人口推計にあたっては、過去の住民基本台帳DATA（平成20年～平成24年の各年7月1日）を用いて、コーホート要因法により5歳階級別・男女別に算定を行いました。

コーホートとは、同年（又は同期間）に出生した集団のことをいい、コーホート要因法とは、その集団ごとの変化を用いて人口推計を行う方法です。コーホート要因法では、ある年齢別人口に出生率や移動率などの仮定値をあてはめて将来人口を計算する方法であり、それぞれの仮定値は以下により設定しました。

出生率	出生率とは、1人の女性が一生に産む子どもの数を示す数字であり、将来の出生率の仮定値については、厚生労働省の推計値を使用した。
生残率	生残率とは、あるコーホート集団が5年後に生き残っている確率のことであり、死亡率より将来生命表を作成して算出する。本推計では、厚生労働省の推計値を使用した。
移動率	平成20年～平成24年までの5年間の平均移動率を算出し、その値を将来も一定であると仮定した。
出生児の性比	将来の出生数を男児、女児と分けるための出生性比については、国の直近2年間の実績に基づき女子100に対して男子を105.5とした。
推計使用データ	平成20年～平成24年までの住民基本台帳

2 関市の将来人口の推計

	実績値	推計値				
	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
総人口	77,272	76,987	76,683	76,336	75,955	75,535
年少人口 (0～14 歳)	11,348 (14.7%)	11,231 (14.6%)	11,045 (14.4%)	10,882 (14.3%)	10,673 (14.1%)	10,457 (13.8%)
生産年齢人口 (15～64 歳)	49,429 (64.0%)	48,346 (62.8%)	47,409 (61.8%)	46,521 (60.9%)	45,859 (60.4%)	45,284 (60.0%)
高齢者人口 (65 歳以上)	16,495 (21.3%)	17,410 (22.6%)	18,229 (23.8%)	18,933 (24.8%)	19,423 (25.6%)	19,794 (26.2%)

	推計値					
	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年	平成 33 年	平成 34 年	平成 35 年
総人口	75,078	74,587	74,070	73,526	72,950	72,348
年少人口 (0～14 歳)	10,218 (13.6%)	9,973 (13.4%)	9,740 (13.1%)	9,554 (13.0%)	9,326 (12.8%)	9,073 (12.5%)
生産年齢人口 (15～64 歳)	44,704 (59.5%)	44,192 (59.2%)	43,699 (59.0%)	43,122 (58.6%)	42,606 (58.4%)	42,235 (58.4%)
高齢者人口 (65 歳以上)	20,156 (26.8%)	20,422 (27.4%)	20,631 (27.9%)	20,850 (28.4%)	21,018 (28.8%)	21,040 (29.1%)

	推計値					
	平成 36 年	平成 37 年	平成 38 年	平成 39 年	平成 40 年	平成 41 年
総人口	71,718	71,067	70,396	69,716	69,025	68,314
年少人口 (0～14 歳)	8,834 (12.3%)	8,572 (12.1%)	8,351 (11.9%)	8,135 (11.7%)	7,953 (11.5%)	7,791 (11.4%)
生産年齢人口 (15～64 歳)	41,750 (58.2%)	41,361 (58.2%)	40,897 (58.1%)	40,451 (58.0%)	39,949 (57.9%)	39,464 (57.8%)
高齢者人口 (65 歳以上)	21,134 (29.5%)	21,134 (29.7%)	21,148 (30.0%)	21,130 (30.3%)	21,123 (30.6%)	21,059 (30.8%)

	推計値		
	平成 42 年	平成 43 年	平成 44 年
総人口	67,591	66,863	66,116
年少人口 (0～14 歳)	7,646 (11.3%)	7,520 (11.2%)	7,408 (11.2%)
生産年齢人口 (15～64 歳)	38,882 (57.5%)	38,384 (57.4%)	37,807 (57.2%)
高齢者人口 (65 歳以上)	21,063 (31.2%)	20,959 (31.3%)	20,901 (31.6%)

3 武芸川地域の将来人口の推計

	実績値	推計値				
	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
総人口	6,515	6,486	6,465	6,432	6,400	6,369
年少人口 (0~14 歳)	869 (13.3%)	869 (13.4%)	874 (13.5%)	866 (13.5%)	852 (13.3%)	856 (13.4%)
生産年齢人口 (15~64 歳)	4,123 (63.3%)	4,026 (62.1%)	3,939 (60.9%)	3,879 (60.3%)	3,813 (59.6%)	3,742 (58.8%)
高齢者人口 (65 歳以上)	1,523 (23.4%)	1,591 (24.5%)	1,652 (25.6%)	1,687 (26.2%)	1,735 (27.1%)	1,771 (27.8%)

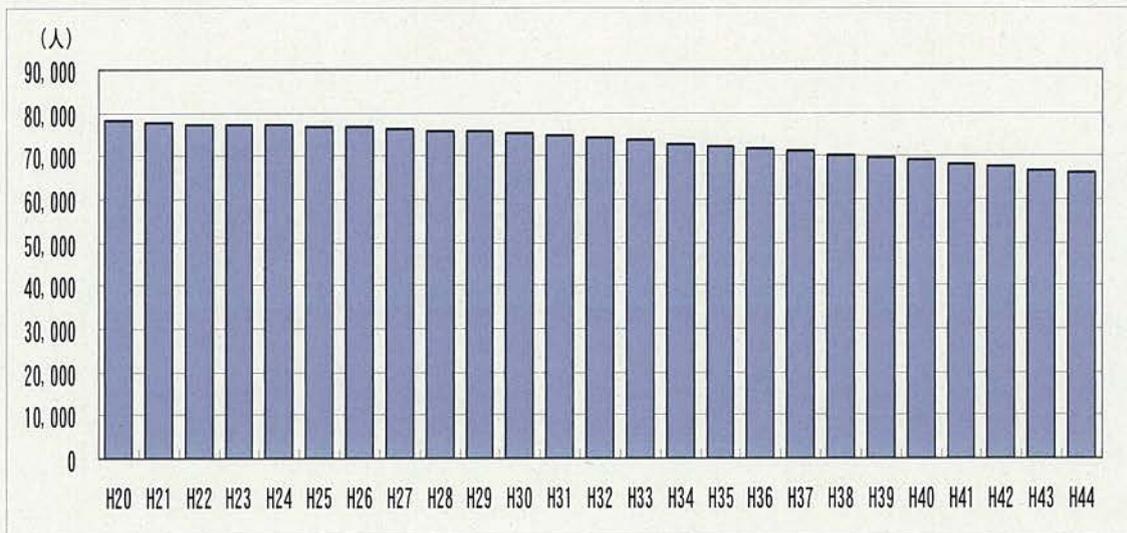
	推計値					
	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年	平成 33 年	平成 34 年	平成 35 年
総人口	6,340	6,317	6,288	6,252	6,221	6,191
年少人口 (0~14 歳)	844 (13.3%)	839 (13.3%)	835 (13.3%)	829 (13.3%)	820 (13.2%)	810 (13.1%)
生産年齢人口 (15~64 歳)	3,683 (58.1%)	3,623 (57.4%)	3,563 (56.7%)	3,527 (56.4%)	3,485 (56.0%)	3,448 (55.7%)
高齢者人口 (65 歳以上)	1,813 (28.6%)	1,855 (29.4%)	1,890 (30.1%)	1,896 (30.3%)	1,916 (30.8%)	1,933 (31.2%)

	推計値					
	平成 36 年	平成 37 年	平成 38 年	平成 39 年	平成 40 年	平成 41 年
総人口	6,151	6,105	6,058	6,015	5,973	5,928
年少人口 (0~14 歳)	804 (13.1%)	787 (12.9%)	770 (12.7%)	752 (12.5%)	740 (12.4%)	734 (12.4%)
生産年齢人口 (15~64 歳)	3,401 (55.3%)	3,373 (55.2%)	3,352 (55.3%)	3,319 (55.2%)	3,285 (55.0%)	3,260 (55.0%)
高齢者人口 (65 歳以上)	1,946 (31.6%)	1,945 (31.9%)	1,936 (32.0%)	1,944 (32.3%)	1,948 (32.6%)	1,934 (32.6%)

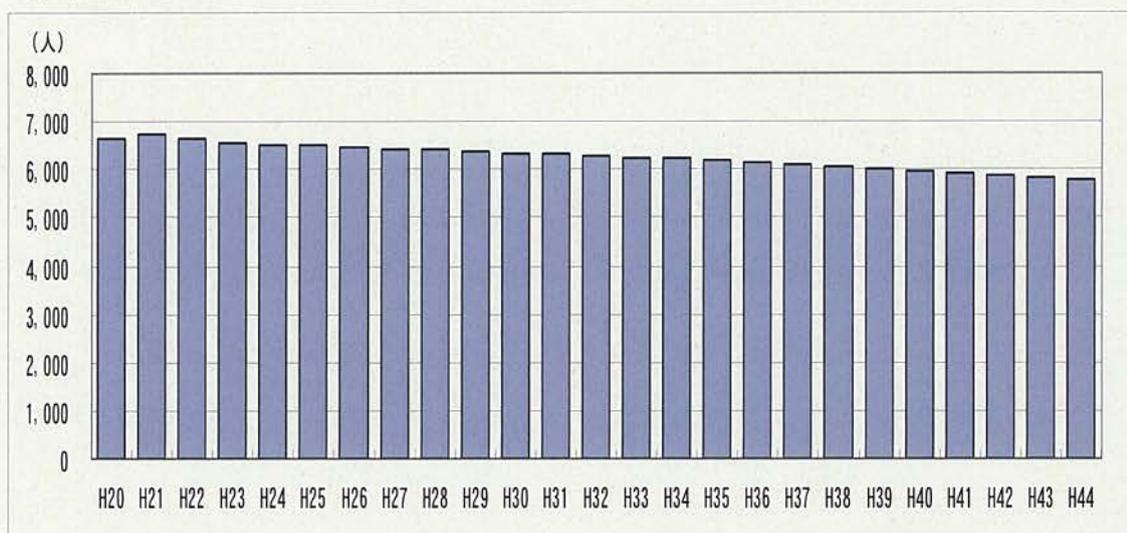
	推計値		
	平成 42 年	平成 43 年	平成 44 年
総人口	5,887	5,846	5,797
年少人口 (0~14 歳)	728 (12.4%)	725 (12.4%)	721 (12.4%)
生産年齢人口 (15~64 歳)	3,227 (54.8%)	3,219 (55.1%)	3,197 (55.1%)
高齢者人口 (65 歳以上)	1,932 (32.8%)	1,902 (32.5%)	1,879 (32.4%)

4 将来人口の推移

【関市】



【武芸川地域】



【武芸川地域の年齢区分別人口の推移】

